

平成27年度当初予算

3次総重点プロジェクトの主な事業一覧

1 歴史都市

代表局 ページ

①家康公四百年祭と駿府城エリアの整備	観光交流文化局 (生活文化局)	1
②「二峠六宿」(東海道歴史街道)	観光交流文化局 (経済局)	3
③三保松原の保全と活用	観光交流文化局 (地域活性化 事業推進本部)	5

2 文化都市

①東静岡・草薙地区の整備	企画局	7
②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進	経済局	9
③オクシズ・しずまへの振興等	経済局	11

3 中枢都市

①首都圏等からの移住・定住の促進	企画局	13
②MICEの推進等による交流人口の拡大	観光交流文化局 (企画局)	15
③戦略産業への支援・育成	経済局	17

4 健康都市

①静岡型地域包括ケアシステムの構築と健康長寿の延伸	保健福祉局	19
②静岡型子ども・子育て支援の推進	子ども未来局	21
③健康都市の実現に向けた基盤整備	都市局	25

5 防災都市

①災害対応力の強化と危機管理体制の確立	総務局	27
②浸水・土砂災害対策の拡充等	総務局	31
③エネルギー関連産業の立地促進と再生可能エネルギーの導入・普及促進	企画局	33

6 共生都市

①多様な人々による共生	市民局 (生活文化局)	35
②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生	環境局	37
③まちづくりは人づくり・シチズンシップ	市民局 (生活文化局)	39

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

1 歴史都市	悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくりの推進
1-① 静岡浅間神社などの回遊性の向上を図りつつ、駿府城公園「桜の名所」づくりや、歴史文化施設の整備を進めるとともに、駿府城天守閣の再建をめざし「サグラダ・ファミリア方式」等市民の協力を得ながら天守台の整備を推進します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
① 家康公四百年祭と駿府城エリアの整備						669,580		
○徳川家康公顕彰四百年記念事業の実施								
1	拡充	観光交流文化局 (地域活性化事業推進本部)	家康公四百年祭事業推進本部(地域活性化事業推進本部)	ソフト	徳川家康公顕彰四百年記念事業 (「駿府天下泰平まつり」等)	483,340	1	14
2	新規	葵区役所	地域総務課	ソフト	駿府脚(ねり)再興事業 (お脚サポーター事業、駿府脚勢揃い事業)	15,000	2	11
3	拡充	観光交流文化局 (経済局)	シティプロモーション課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	駿府脚再興事業 (おねり保存事業費助成)	23,401	2	—
4	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	文化振興課	ソフト	第73期将棋名人戦開催事業負担金	8,000	3	18
5	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	文化振興課	ソフト	第70期囲碁基本因坊戦開催事業負担金	8,000	3	18
6	拡充	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ハード	(重文)神部神社浅間神社本殿ほか12棟建造物 保存修理事業	20,000	4	17
小計						557,741		
○駿府城公園エリアの整備の推進								
7	拡充	都市局	公園整備課	ハード	駿府城公園再整備事業	55,000	5	58
8	継続	都市局	緑地政策課 公園整備課	ハード	駿府城公園「桜の名所」づくり事業	20,078	6	57,59
9	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ハード	歴史文化施設建設事業	4,221	7	16
10	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ソフト	さきがけ博物館事業	26,953	7	16
小計						106,252		
○その他								
11	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ソフト	静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞調査事業	2,769	8	18
12	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ハード	朝鮮通信使(興津清見寺境内)活用整備事業	1,080	—	—
13	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ハード	朝鮮通信使(興津清見寺境内)保存修理事業	1,045	—	—
14	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ソフト	朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会 負担金	693	—	—
小計						5,587		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	101,424
ソフト	568,156
計	669,580

<重点プロジェクト(1-①)のイメージ>

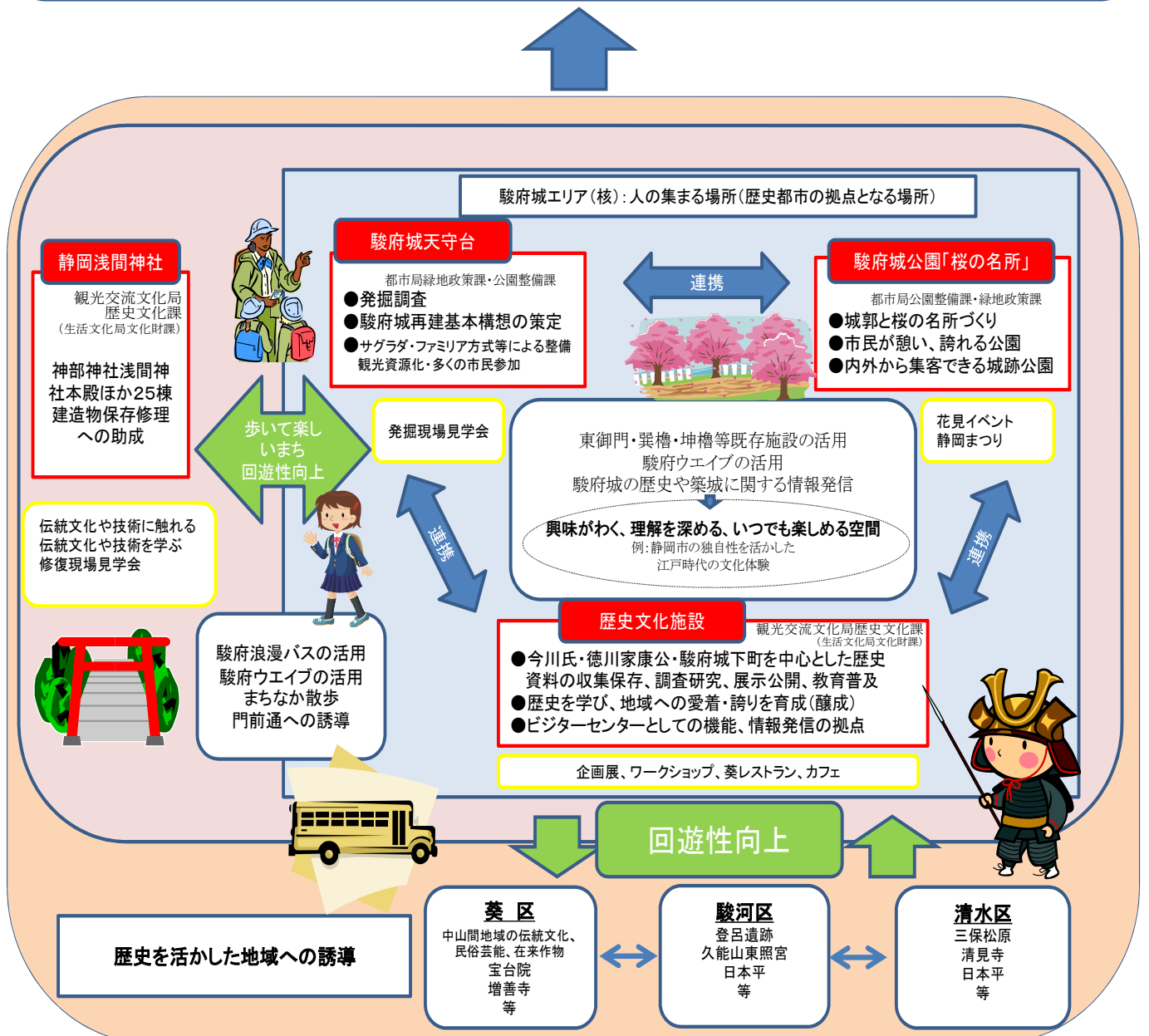
主な関係局 (◎は代表局)	◎観光交流文化局(生活文化局、地域活性化事業推進本部、経済局)、都市局、葵区役所
------------------	--

現状

- ①豊かな自然環境や人々の営みによって育まれてきた、多くの歴史的・文化的な遺産が市内各所に残されているが、核となるものがない。
- ②歴史的・文化的な遺産が点在しているために、それらを連携させた展開ができていない。

ねらい

- ①受け継がれてきた歴史的・文化的な遺産を掘り起し、みがきあげ、核(ランドマーク)を現代によみがえらせる。
- ②駿府城エリアを拠点として、市内の歴史的・文化的な遺産を結びつけ連携した事業を展開することで、回遊性を高める。



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

1 歴史都市	悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくりの推進
---------------	-------------------------------------

1-② 旧東海道の沿線に点在する二峠六宿について、中世より多くの旅人が往来した歴史的景観の保全や、それぞれが持つ地域資源のみがきあげによる賑わいの創出など、約40kmにわたる「東海道歴史街道」の整備を推進します。

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
② 「二峠六宿」(東海道歴史街道)						349,097		
1	拡充	観光交流文化局 (地域活性化事業推進本部)	家康公四百年祭事業推進本部(地域活性化事業推進本部)	ソフト	徳川家康公顕彰四百年記念事業 〔「駿府天下泰平まつり」〕【再掲】	294,000	1	14
2	拡充	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	東海道歴史街道まち歩き推進事業	29,630	9	16
3	新規	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ハード	東海道広重美術館の設備改修	11,700	9	—
4	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	東海道2峠6宿街道観光協議会負担金	600	—	—
5	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	蒲原宿場まつり&産業フェア助成	6,840	—	—
6	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	かんばら御殿山さくらまつり助成	2,007	—	—
7	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	由比街道まつり助成	1,350	—	—
8	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	丸子宿場まつり開催事業助成	500	—	—
9	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	かんばらまつり開催助成	2,470	—	—

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	11,700
ソフト	337,397
計	349,097

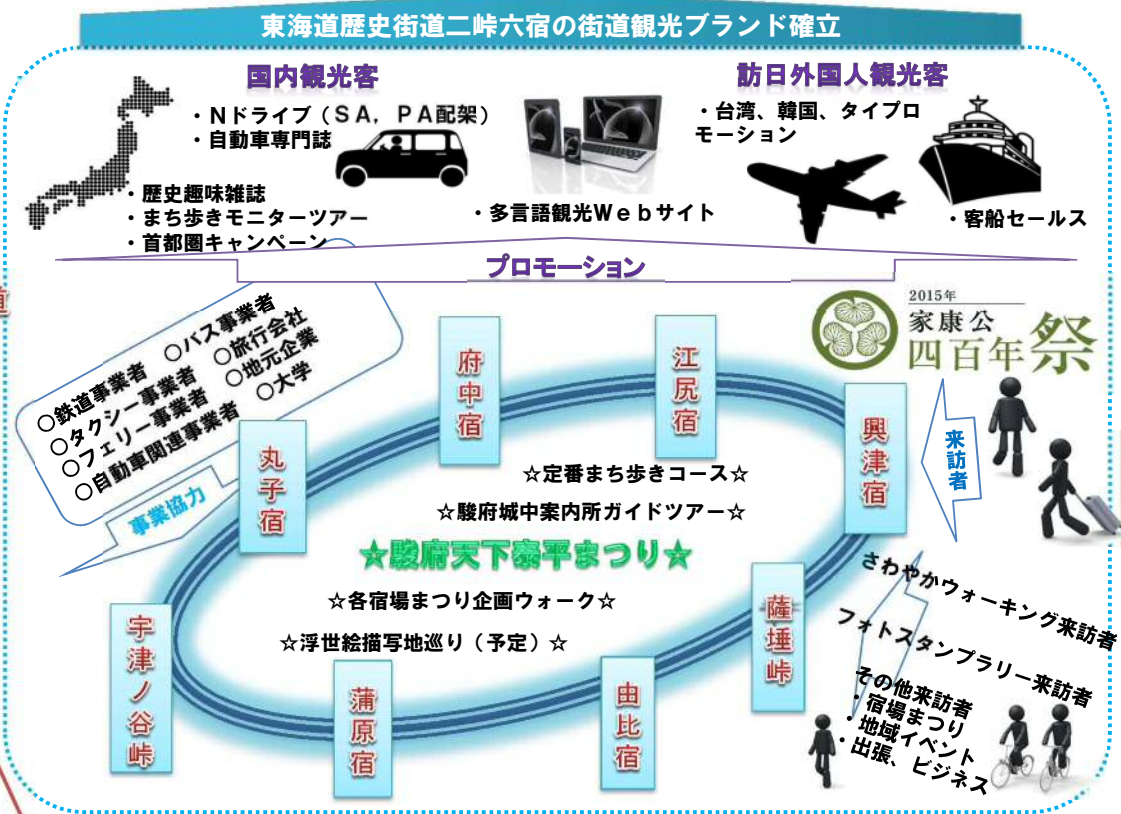
＜重点プロジェクト(1-②)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局) ◎観光交流文化局(地域活性化事業推進本部、経済局、生活文化局)、建設局、都市局

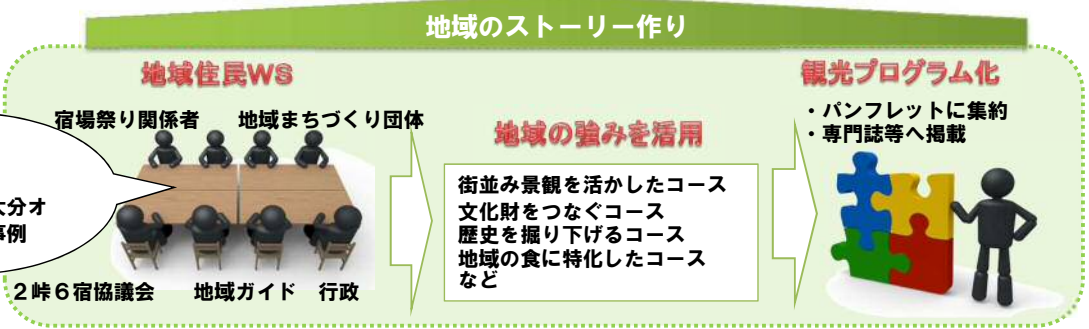
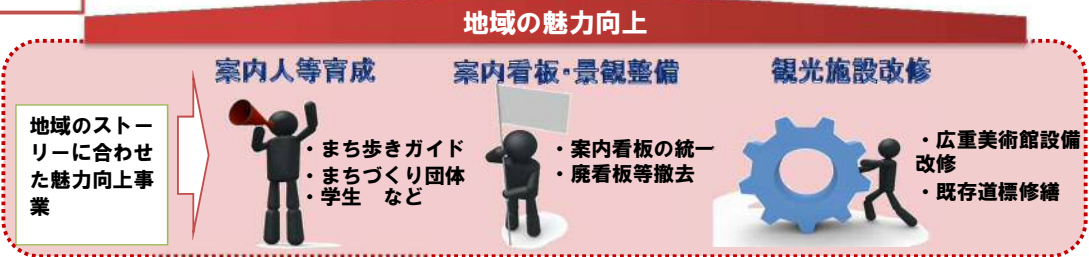
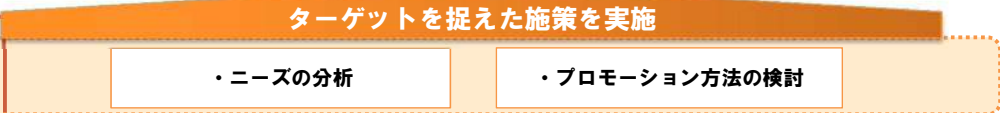
目指すべき姿

【市内】市民全員が観光ガイド～自ら自慢したくなる観光地づくり～
 【市外】東海道歴史街道二峠六宿の街道観光ブランド確立～江戸の旅人を癒したおもてなし街道の復活～

観光交流客数増加・宿泊客数増加



- ・二峠六宿事業の方向性
- ・ストーリー作りアドバイス
- ・プロモーション支援
- ・事業評価



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

1 歴史都市	悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくりの推進
1-③ 世界文化遺産「三保松原」に、国内外からの観光客を受け入れ、世界に向け情報発信を行う「(仮称)三保松原ビジターセンター」の整備を進めるとともに、三保半島に点在する地域資源との連携により、そのブランド価値の向上を目指します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
③ 三保松原の保全と活用						839,744		
○「三保松原ビジターセンター」の整備								
1	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ハード	(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業	70,440	10	17
2	拡充	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観 光・シティプロモ ーション課)	ハード	三保松原周辺整備事業 (観光バス専用駐車場整備)	157,164	—	16
3	拡充	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観 光・シティプロモ ーション課)	ソフト	三保松原周辺維持管理事業 (駐車場の管理等)	41,870	—	16
4	拡充	都市局	緑地政策課 公園整備課	ハード	羽衣公園整備事業	281,200	11	58
5	拡充	建設局	道路計画課 清水道路整備課	ハード	道整備交付金事業(羽衣海岸線)	54,200	—	63
小計						604,874		
○松原の保全								
6	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ソフト	三保松原保全活動支援事業	1,988	12	18
7	拡充	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ハード ソフト	三保松原保全活用整備事業	71,996	12	17
8	継続	経済局	治山林道課	ソフト	マツ材線虫病防除事業等	49,000	13	47
小計						122,984		
○その他								
9	新規	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観 光・シティプロモ ーション課)	ハード	観光トイレリフレッシュ事業 (清水三保海浜公園観光トイレ建設等)	18,886	—	16
10	新規	都市局	建築総務課	ソフト	三保半島景観まちづくり支援事業	3,000	14	59
11	拡充	建設局	道路計画課 清水道路整備課	ハード	防災・安全社会資本整備交付金事業 (都)清水港三保線)	18,000	—	63
12	新規	建設局	道路保全課	ハード	交通安全施設整備事業 (三保駒越線横断架空線の撤去)	50,000	—	64
13	新規	建設局	道路保全課	ハード	交通安全施設整備事業 (三保地区の自転車走行空間の整備)	22,000	—	64
小計						111,886		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	743,886
ソフト	95,858
計	839,744

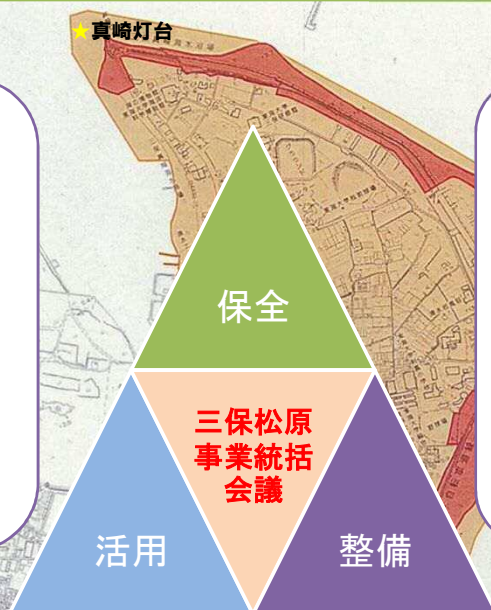
<重点プロジェクト(1-③)のイメージ>

主な関係局 (◎は代表局) ◎観光交流文化局(地域活性化事業推進本部、生活文化局、経済局)、経済局、都市局、建設局

松原を保全するための取組



- 三保松原保全活用整備事業
 - 【観光交流文化局：歴史文化課】
 - ・三保松原保全ボードウォーク整備事業
 - ・シロアリ被害状況調査
 - ・幼松の植樹会
- マツ材線虫病防除事業経費 他【経済局：治山林道課】
 - ・薬剤の地上散布
 - ・無人ヘリによる薬剤の試験散布
 - ・予防剤の樹幹注入
 - ・枯れ松の伐倒駆除
 - ・シロアリ防除
 - ・草刈り・堆積松葉の除去(市有林内)



【三保松原の保全と活用に向けた課題】

- 松原を保全するための課題
 - 《持続可能な松原の保全と活用の調和を重視した施策の推進、本質的価値の継承》
- 来訪者満足度向上のための課題
 - 《富士山を核とした景観・文化観光の推進、地域特色を活かした食・産業・体験観光の推進》
- 都市基盤整備と良好な景観形成のための課題
 - 《観光レクリエーション資源を活かした交流拠点空間の整備、地域主体の包括的まちづくりの推進》

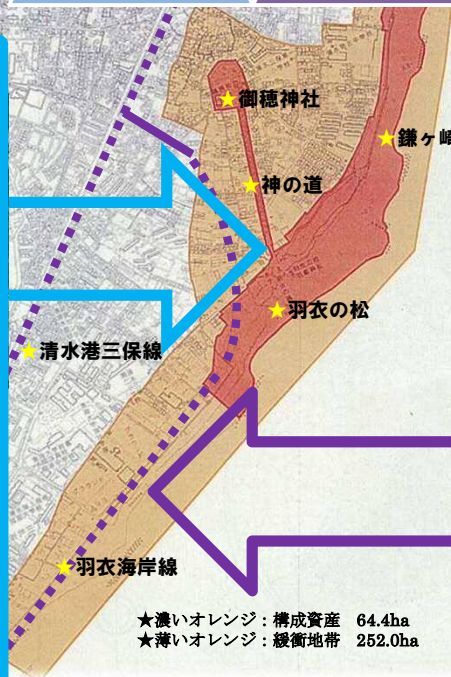
【事業のねらい】

- 松原の保全
 - 効果的な松枯れ対策の実施、松原全体の管理基本計画により、松原の健全な育成と管理の体制を確立していく。
- 来訪者の満足度向上
 - 三保松原の価値と魅力の発信を強化するとともに、交通アクセスの向上や施設の改善を図り、来訪者の満足度向上に繋げていく。
- 都市基盤整備と良好な景観形成
 - 世界遺産にふさわしい三保地区の良好な沿道景観の形成を推進するとともに、横断架空線の撤去による道路景観を改善していく。

来訪者の満足度向上のための取組



- (仮称)三保松原ビジターセンター建設事業
 - 【観光交流文化局：歴史文化課】
 - ・基本・実施設計及び展示設計
- 羽衣公園整備事業【都市局：緑地政策課、公園整備課】
- 三保松原周辺整備事業【観光交流文化局：観光交流課】
 - ・観光バス専用駐車場用地取得
 - ・観光バス専用駐車場整備実施設計
 - ・案内看板整備実施設計
- 観光トイレフレッシュ事業【観光交流文化局：観光交流課】
 - ・清水三保海浜公園トイレ建設事業
 - ・三保灯台観光トイレ解体工事



都市基盤整備と良好な景観形成のための取組



- 三保半島景観まちづくり支援業務【都市局：建築総務課】
 - ・景観まちづくり協議会支援、地元ワークショップ等の開催
- 交通安全施設整備事業費【建設局：道路保全課】
 - ・三保駒越線の横断架空線の撤去事業
 - ・三保地区の自転車走行空間の整備
 - 《三保半島の都市基盤整備》
- 羽衣公園整備事業【都市局：緑地政策課、公園整備課】(再掲)
- 羽衣海岸線の整備【建設局：道路計画課、清水道路整備課】
- (都)清水港三保線(折戸)の整備
 - 【建設局：道路計画課、清水道路整備課】

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

2 文化都市	人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進
2-① 東静岡地区に、静岡県との連携により、新たな賑わいと交流の核となる「文化・スポーツの殿堂」の整備を目指していくとともに、草薙地区では、駅周辺の整備などを進め、県立大学などとの立地を活かした文教エリアづくりを進めます。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
① 東静岡・草薙地区の整備						2,282,683		
1	継続	企画局	企画課	ソフト	東静岡地区文化・スポーツの殿堂創出検討事業 (市有地利活用検討事業)	5,000	15	3
2	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	日本平動物園	ソフト	有度山フレンドシップ協定事業	821	—	—
3	継続	都市局	市街地整備課	ハード	草薙駅南口地区市街地再開発事業	1,066,740	16	55
4	継続	都市局	清水駅周辺整備課	ハード	草薙駅周辺整備事業	1,202,122	17	57
5	継続	都市局	清水駅周辺整備課	ソフト	草薙駅周辺エリアマネジメント支援業務	8,000	—	57

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	2,268,862
ソフト	13,821
計	2,282,683

<重点プロジェクト(2-①)のイメージ>

主な関係局
(◎は代表局) ◎企画局、観光交流文化局(生活文化局)、都市局

現状

- ・東静岡駅北口駅前市有地の活用が課題となっており、「文化の発信」、「賑わいの創出」、「防災機能の強化」の3つの視点で検討を行い、3次総において「文化・スポーツの殿堂」を整備するとした。
- ・東静岡駅南口では、現在、静岡県が「東静岡有識者会議」を設置し、現在暫定駐車場となっている県有地の活用検討が行われている。
- ・草薙駅周辺地区は、教育施設や県立美術館など、文教エリアとしての機能を有している。
- ・JR草薙駅舎の整備や北口駅前広場の整備、南口で市街地再開発事業が現在進行中であり、駅前の大改造が行われている。
- ・地区住民、自治会、県大、地元商店街、近隣企業などで構成される「草薙の輪プロジェクト」が立ち上がり、産官学一体となって草薙駅周辺のまちづくりの検討が進められている。

東静岡駅周辺地区:文化・スポーツの殿堂

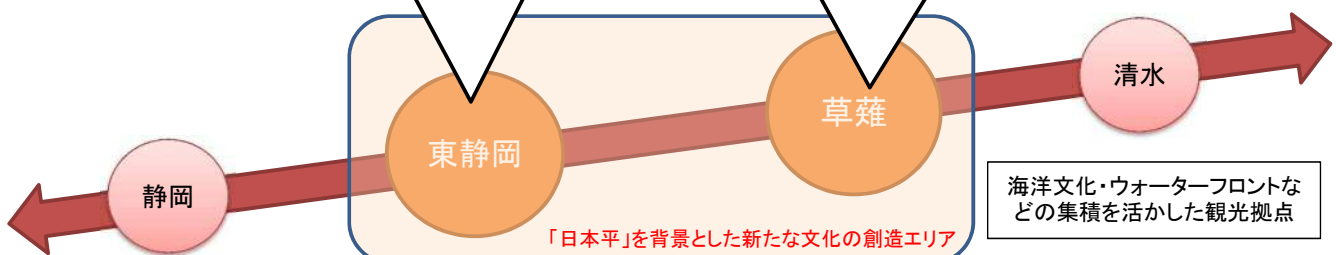


○東静岡地区市有地利活用検討事業 企画局 企画課

草薙駅周辺地区:文教エリア



○草薙駅周辺整備事業 都市局 清水駅周辺整備課
○草薙駅南口地区市街地再開発事業 都市局 市街地整備課



商業・業務・医療・歴史文化資源
などの集積を活かした中枢拠点

海洋文化・ウォーターフロントな
どの集積を活かした観光拠点

ねらい

商業、文化機能を有する静岡都心、港などの観光資源を有する清水都心とともに、東静岡駅周辺を「文化・スポーツエリア」、草薙駅周辺を「文教エリア」と、本市の有する文化力の集積を交通結節点上に配置し、その相乗効果により更なる本市の魅力向上を図る。

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

2 文化都市	人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進
2-② 清水港周辺地区に産学官の連携による海洋文化の拠点づくりや、新たな公共交通の導入の検討を進めるとともに、ウォーターフロントの賑わい創出のため、客船誘致やマリナーパークへの遊歩道整備・活用など回遊性の向上を図ります。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備推進						873,945		
○海洋文化の拠点づくりと「みなと」と「まち」が一体となった回遊性の向上								
1	拡充	経済局	清水港振興課	ソフト	清水都心ウォーターフロント活性化推進事業 (軽トラ市、トリックアートストリート等)	4,400	18	43
2	拡充	都市局	都市計画課	ハード	清水都心ウォーターフロント活性化推進事業 (都市デザイン検討)	6,000	19	53
3	継続	都市局	交通政策課	ハード	清水都心ウォーターフロント回遊性向上事業 (新交通体系としてのLRTの検討等)	3,000	19	54
4	新規	経済局	清水港振興課	ソフト	産学官連携による清水港海洋文化拠点調査 事業	2,100	18	43
5	新規	経済局	清水港振興課	ソフト	日の出6号上屋活用方法検討調査事業	2,945	18	43
6	継続	経済局	清水港振興課	ソフト	清水港ビジョン推進事業 (日の出埠頭一部開放事業)	2,200	18	43
7	拡充	経済局	清水港振興課	ソフト	清水港客船誘致委員会負担金	28,096	20	43
8	継続	経済局	清水港振興課	ソフト	清水港にぎわい創出事業助成 (フラワーフェスタ・興津フェア)	2,220	—	—
9	新規	都市局	都市計画課	ハード	清水港線跡自転車歩行者道魅力向上事業	10,000	19	53
小計						60,961		
○清水中心市街地の賑わい創出								
10	継続	観光交流文化局 (経済局)	シティプロモーション課 (観光・シティプロモーション課)	ソフト	イルミネーション設置事業 (清水区イルミネーション)	5,330	—	15
11	新規	経済局	商業労政課	ソフト	清水エリアマネジメント推進事業 (商店街ストリートアート)	2,000	—	42
12	新規	経済局	商業労政課	ソフト	中心市街地にぎわい創出事業助成 (富士山コスプレ世界大会)	1,000	—	43
13	継続	経済局	清水港振興課	ソフト	清水港マグロまつり開催費助成	6,500	—	43
小計						14,830		
○江尻地区ペDESTリアンデッキの整備								
14	拡充	都市局	清水駅周辺整備課	ハード	江尻ペDESTリアンデッキ整備事業	500,000	21	56
○その他								
15	拡充	経済局	清水港振興課	ハード	清水港海づり公園代替施設再整備事業	2,600	—	43
16	拡充	経済局	清水港振興課	ハード	清水港港湾整備事業費負担金	293,500	—	44
17	継続	経済局	清水港振興課	ソフト	清水港みなと色彩計画推進協議会負担金	1,056	—	—
18	継続	経済局	清水港振興課	ソフト	駿河湾海上交通活性化協議会負担金	998	—	—
小計						298,154		

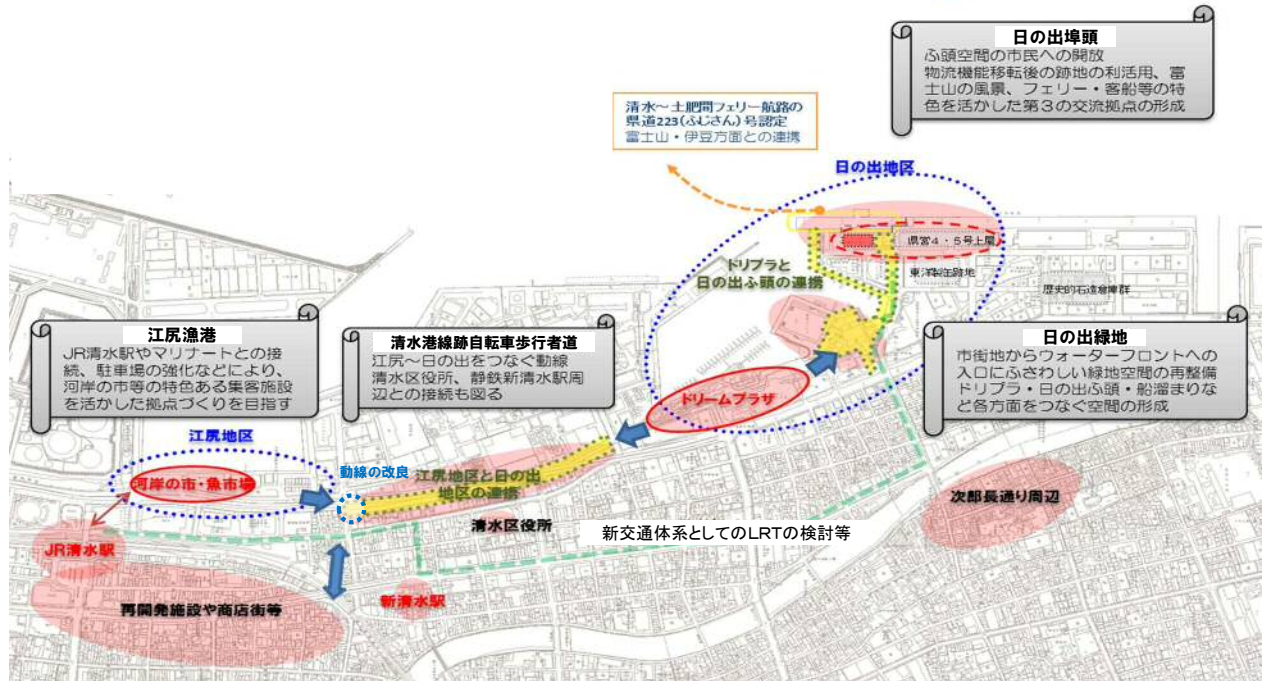
※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	815,100
ソフト	58,845
計	873,945

<重点プロジェクト(2-②)のイメージ>

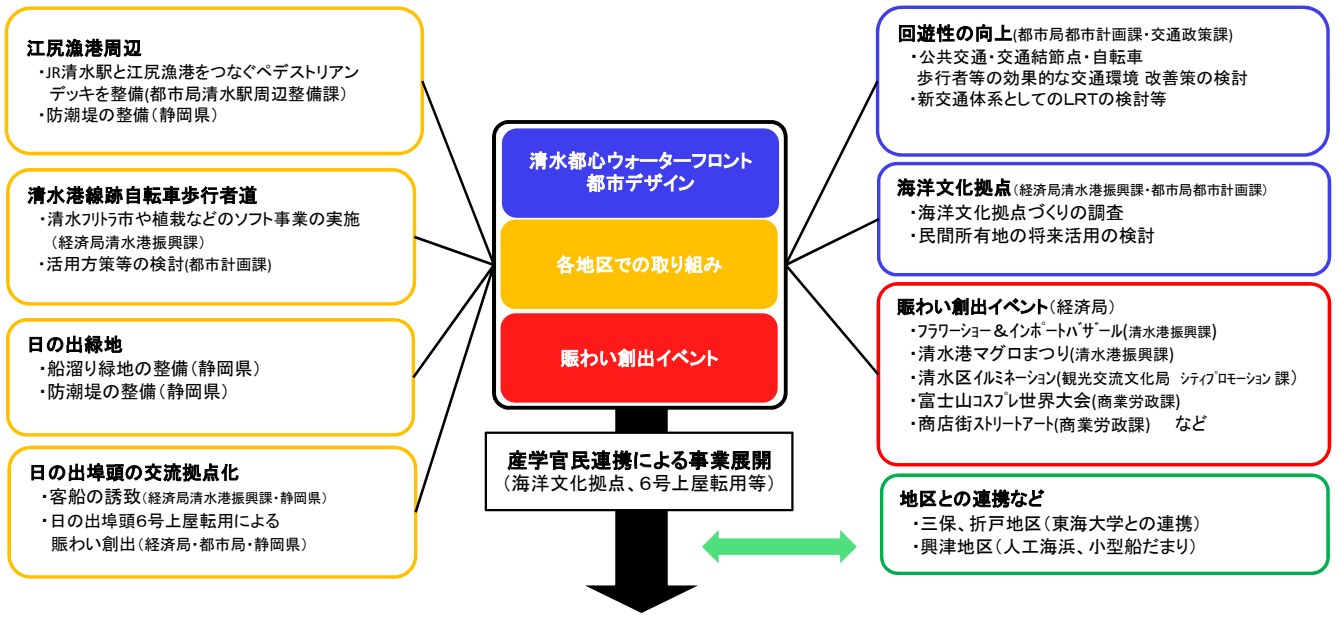
主な関係局
(◎は代表局) ◎経済局、観光交流文化局(経済局)、都市局、建設局

基本方針 : 「みなと」と「まち」が一体となった清水都心ウォーターフロントの形成
重点目標 : 江尻地区から日の出地区の異なる魅力の拠点を磨きつなげていく



「JR清水駅～江尻漁港～清水港線跡自転車歩行者道～日の出緑地～日の出埠頭」のネット

<清水都心ウォーターフロント活用事業>



ねらい:賑わいを創出し、地域経済の活性化を図る。

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

2 文化都市	人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進
2-③ 地域資源の宝庫である中山間地域(オクシズ)や、駿河湾沿岸地域(しずまえ)が有する山の幸、海の幸などの食文化、神楽や芸妓などの伝統文化、さらには大道芸W杯などの創造性豊かな静岡文化を進化させます。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
③ オクシズ・しずまへの振興等						261,752		
○「オクシズ」地域おこし条例に基づく地域活性化								
1	新規	経済局	中山間地振興課	ハード	南アルプス周辺登山道整備事業	45,000	22	52
2	新規	経済局	中山間地振興課	ハード	中山間地振興事業費助成 (きよさわ里の駅新棟建設)	14,664	—	50
3	新規	経済局	中山間地振興課	ソフト	地域おこし協力隊配置事業	5,000	23	52
4	継続	経済局	中山間地振興課	ソフト	オクシズプロモーション事業	6,600	24	51
5	拡充	経済局	中山間地振興課	ソフト	オクシズスポーツツーリズム促進事業費助成	4,000	25	51
6	新規	経済局	中山間地振興課	ソフト	オクシズ在来作物活用事業	4,700	26	52
7	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	スポーツ振興課	ハード	安倍の大滝遊歩道整備	25,000	—	—
小計						104,964		
○「しずまえ」鮮魚の普及・振興								
8	拡充	経済局	水産漁港課	ソフト	しずまえ鮮魚普及事業	6,878	27	48
○茶どころ日本一計画の推進								
9	新規	経済局	農業政策課	ソフト	「(仮称)お茶の聖地」推進事業	5,000	28	45
10	新規	経済局	農業政策課	ソフト	静岡市特産茶の戦略的輸出支援事業	3,000	29	45
11	新規	経済局	農業政策課	ソフト	全国お茶まつり開催事業	10,000	30	46
12	新規	経済局	農業政策課	ソフト	ミラノ国際博覧会出展事業	10,220	31	44
13	新規	経済局	産業政策課	ソフト	静岡お茶漬けプロジェクト推進事業	4,050	32	39
小計						32,270		
○その他								
14	継続	観光交流文化局 (地域活性化事業推進本部)	シティプロモーション課(地域活性化事業推進本部)	ソフト	シズオカ×カンヌウィーク開催費助成	5,000	33	14
15	継続	観光交流文化局 (地域活性化事業推進本部)	シティプロモーション課(地域活性化事業推進本部)	ソフト	「シズカン」プロジェクト推進事業	3,920	33	14
16	拡充	観光交流文化局 (経済局)	シティプロモーション課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	大道芸ワールドカップ開催費助成	97,480	34	14
17	拡充	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	地域資源(伝統芸能芸妓)ブランディング推進事業	3,000	—	—
18	拡充	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	伝統芸能振興事業費助成	4,000	—	—
19	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課(文化財課)	ソフト	無形民俗文化財保存伝承事業	2,025	—	—
20	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課(文化財課)	ソフト	地域文化の担い手の育成と伝承事業	925	—	—
21	継続	経済局	農業政策課	ソフト	発見! しずおか旬の食材プロジェクト	1,290	—	—
小計						117,640		

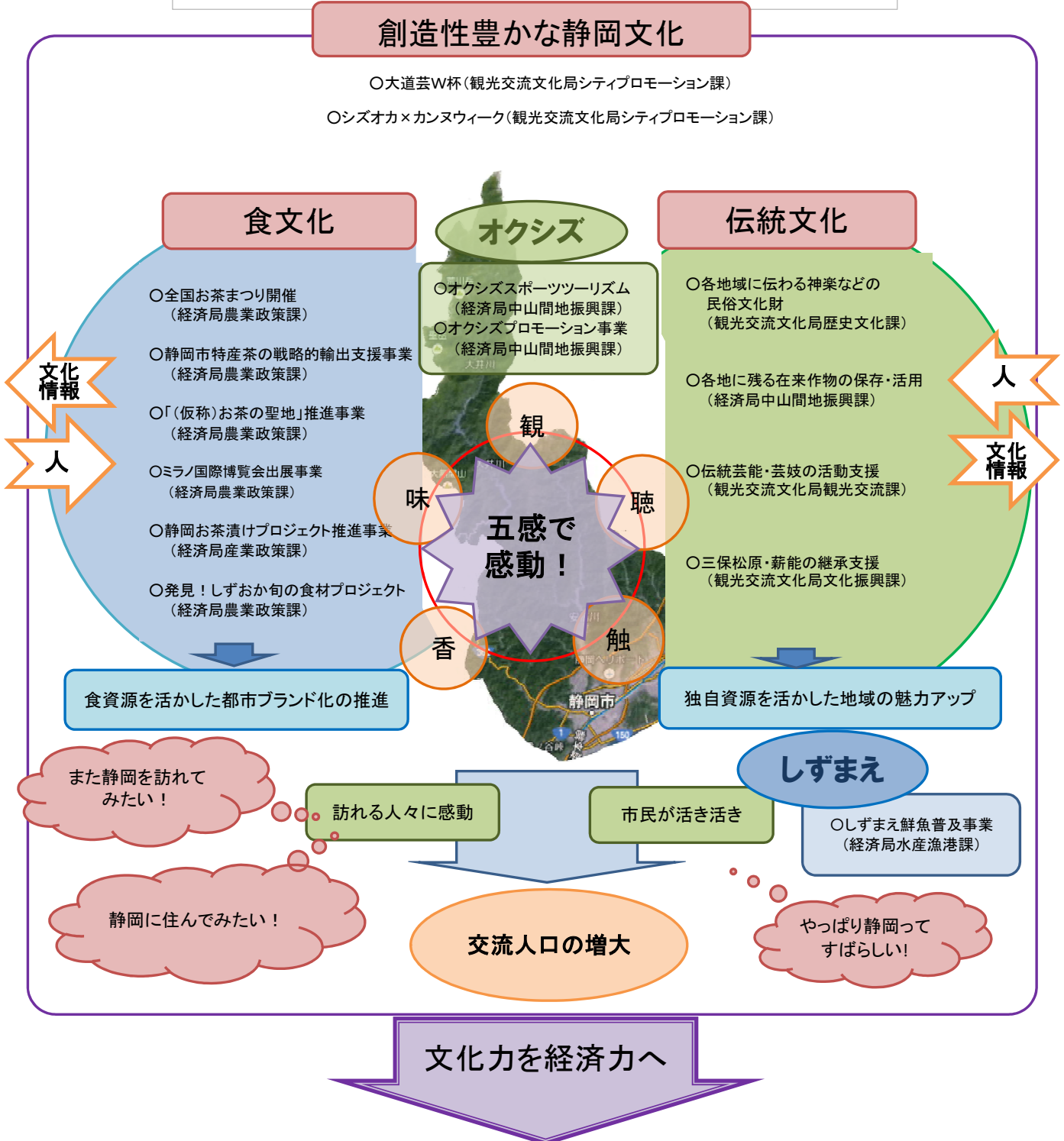
※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	84,664
ソフト	177,088
計	261,752

＜重点プロジェクト(2-③)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局)	◎経済局、観光交流文化局(生活文化局、地域活性化事業推進本部)
------------------	---------------------------------

【現状】静岡市は、豊かな自然、悠久の歴史を背景に、多彩な文化(食文化、伝統文化、創造的文化など)を有しており、魅力ある都市づくりに向けて、その効果的、有機的な活用が、より求められている。



【ねらい】 ～世界中の誰もがあこがれる文化都市へ～
 静岡市にある様々な文化資源を、創造性と連動性を駆使しながらみがきあげ、人々の五感に訴え、感動を通じて、より多くの人々が集うことにより、地域経済、地域コミュニティの活性化につなげていく。

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
<p>3-① 首都圏等からの移住・定住の促進を目指し、雇用・就労の場や住宅の確保、教育・子育て、医療・介護などの充実を図り、「静岡暮らし」の魅力の向上と情報発信を積極的に進めることで、定住人口の増加を目指します。</p>	

<主な事業>

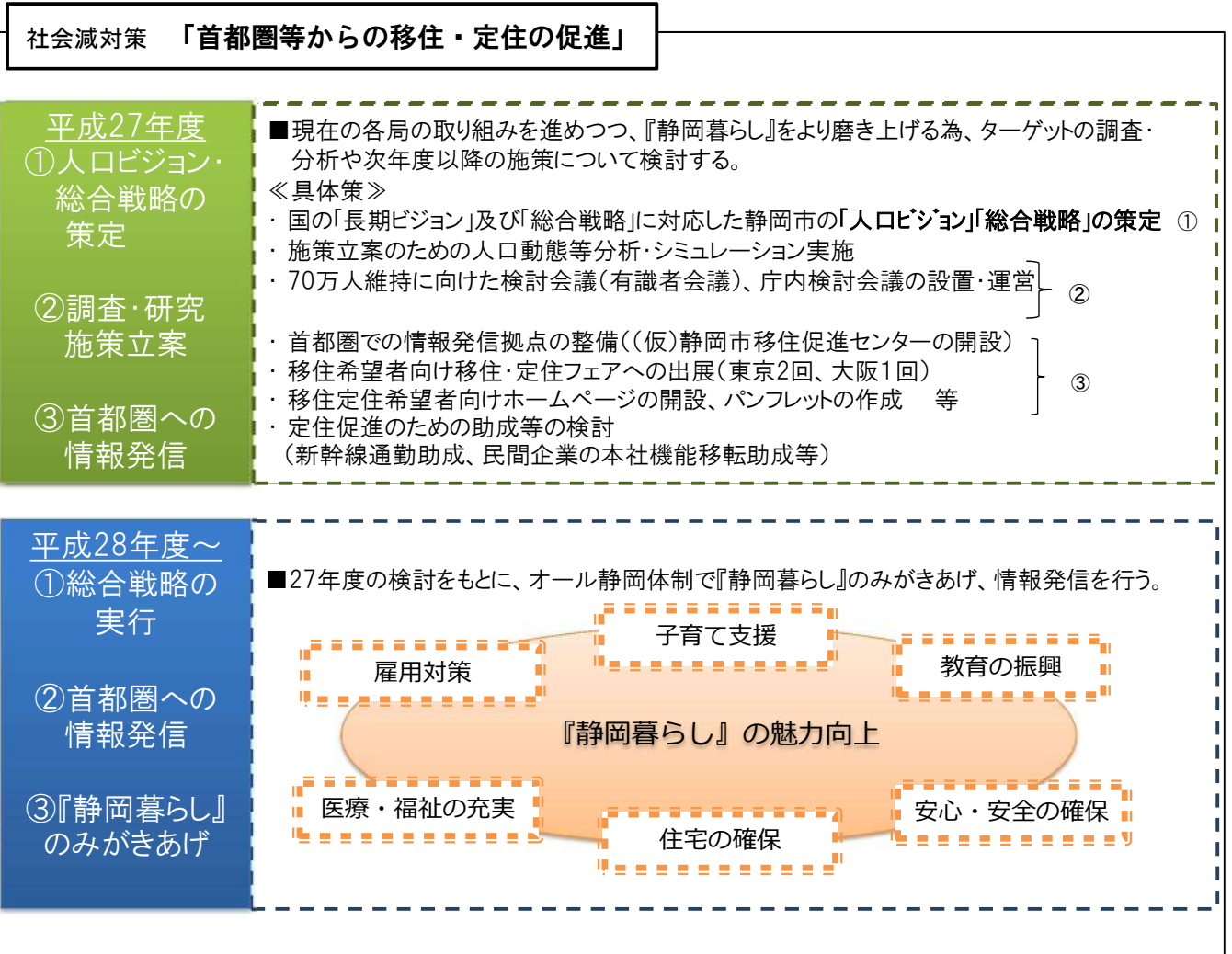
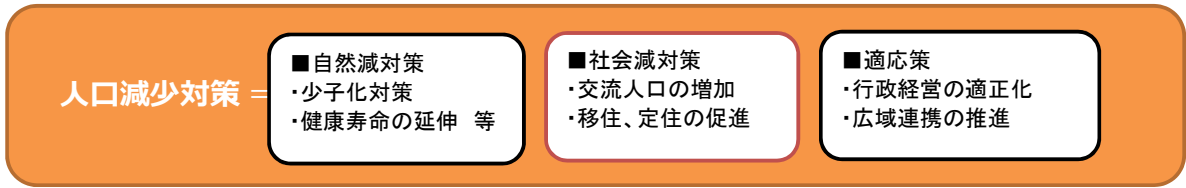
No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
① 首都圏等からの移住・定住の促進						155,054		
○首都圏等での情報発信								
1	新規	企画局	企画課	ソフト	人口減少対策事業 (「(仮称)静岡市移住促進センター」の開設)	39,000	35	3
2	新規	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (首都圏からのインターンシップ促進)	1,854	36	42
3	新規	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (女子大学生キャリアセミナー)	845	36	42
4	継続	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (リクルート・カフェ首都圏開催)	2,000	36	42
5	継続	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (しずおか地元企業魅力発見プロジェクト)	1,500	36	42
6	新規	経済局	農業政策課	ソフト	(仮称)アグリチャレンジパーク蒲原管理運営事業	3,300	37	46
7	拡充	経済局	中山間地振興課	ソフト	中山間地域移住促進事業 (移住用住宅改修、移住奨励金、促進事業助成)	9,800	38	51
8	新規	経済局	中山間地振興課	ソフト	地域おこし協力隊配置事業【再掲】	5,000	23	52
9	新規	都市局	住宅政策課	ソフト	公営住宅ストック総合改善事業 (住生活意識調査)	1,500	—	61
小計						64,799		
○静岡市育英奨学金の拡充								
10	拡充	教育委員会 事務局	学事課	ソフト	奨学金貸付事業	50,028	39	72
○新幹線通勤助成等の検討								
11	新規	企画局	企画課	ソフト	人口減少対策事業 (定住促進のための新幹線通勤助成等の検討)	10,000	35	3
○その他								
12	新規	企画局	企画課	ソフト	人口減少対策事業 (有識者会議の設置等)	12,227	35	3
13	新規	病院局	清水病院 病院総務課	ソフト	清水病院医学生修学資金貸与事業	18,000	40	100
小計						30,227		

ハード	0
ソフト	155,054
計	155,054

＜重点プロジェクト(3-①)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局)	◎企画局、保健福祉局、子ども未来局、病院局、経済局、都市局、教育委員会事務局
------------------	--

【現状】 ・本市の人口は平成2年ごろをピークに減少に転じており、本年9月末時点で約706千人と政令市の中でも最下位になるなど、全庁挙げての早急な対策を進める必要がある。 ・人口構造を見ると、生産年齢人口は20年ほど前から減少傾向。 ・女性の県外への転出超過が顕著である。	【課題】 ・生産年齢人口を増加させるため、合計特殊出生率の上昇と、本市からの女性の転出防止、市外からの女性の転入促進 ・女性が子供を産み育てやすい環境の整備 ・ターゲットを絞った本市への移住・定住の促進
---	---



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
<p>3-② 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を好機ととらえ、合宿誘致はもとより、国際会議や全国大会の誘致などMICEを推進するとともに、県中部地域市町の連携により広域観光を推進するなど、交流人口の拡大に努めます。</p>	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
② MICEの推進等による交流人口の拡大						642,462		
○日本・スペイン・シンポジウムの開催								
1	新規	観光交流文化局 (企画局)	観光交流課 (企画課)	ソフト	日本・スペイン・シンポジウム開催事業	15,000	41	15
2	継続	都市局	公園整備課	ハード	日本平公園整備事業	67,000	42	58
小計						82,000		
○G8サミットの誘致、オリンピック・パラリンピック等の合宿誘致								
3	新規	観光交流文化局 (企画局)	観光交流課 (企画課)	ソフト	G8サミット関係閣僚会合の誘致推進事業	20,000	43	15
4	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	スポーツ振興課	ソフト	オリンピック・パラリンピック等大会合宿誘致事業	5,015	44	18
5	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	スポーツ振興課	ソフト	静岡市スポーツコミッション検討事業	512	45	18
6	新規	経済局	産業振興課	ソフト	東京オリンピック・パラリンピックメダルケース等 提案事業	2,256	46	41
小計						27,783		
○都市ブランドの確立検討等								
7	新規	観光交流文化局 (経済局)	シティプロモーション課 (観光・シティプロモーション課)	ソフト	都市ブランド確立検討事業	10,000	47	14
8	新規	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課 (観光・シティプロモーション課)	ソフト	MICE誘致推進事業	1,230	47	14
小計						11,230		
○県中部地域市町の連携推進								
9	継続	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課 (観光・シティプロモーション課)	ソフト	東海道2峠6宿街道観光協議会負担金【再掲】	600	—	—
10	新規	企画局	企画課	ソフト	県中部地域広域連携推進事業	105	—	—
小計						705		
○その他								
11	新規	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課 (観光・シティプロモーション課)	ソフト	世界SF大会誘致事業	3,262	47	14
12	新規	観光交流文化局 (生活文化局)	スポーツ振興課	ハード	清水庵原球場第2期整備事業	62,100	48	18
13	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	スポーツ振興課	ハード	清水総合運動場陸上競技場スタンド改築工事	444,561	—	—
14	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	日本平動物園	ソフト	有度山フレンドシップ協定事業【再掲】	821	—	—
15	新規	経済局	産業振興課	ハード	ツインメッセ静岡機能強化事業	10,000	—	42
小計						520,744		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	583,661
ソフト	58,801
計	642,462

＜重点プロジェクト(3-②)のイメージ＞

主な関係局
(◎は代表局)

◎観光交流文化局(企画局、生活文化局、経済局)、経済局、都市局

◆現状

【オリンピック・ラグビーワールドカップ】

- ・2020年開催東京オリンピックに向けてH26.5月、静岡県にて推進会議を立ち上げ（観光交流文化局 スポーツ振興課）
- ・ " " H26.6月 オリンピック等庁内連絡会議を立ち上げ（今後静岡県が中心となり、情報収集や合宿誘致活動を行う）
- ・ラグビーワールドカップ2019の静岡県招致を表明、エコパでの開催を提案（観光交流文化局 スポーツ振興課）

【国際会議、全国大会等】

- ・「世界SF大会」「G8サミット関係関係会合」「日本・スペイン・シンポジウム」の誘致（観光交流文化局 観光交流課）

【県中部地域市町の連携による広域観光】

- ・岡部宿（藤枝市）と連携し、宿場まつりの開催（観光交流文化局 観光交流課）

【その他】

- ・観光交流文化局を中心に、キーパーソン招請事業等、MICE誘致推進事業の実施（観光交流文化局 観光交流課）
- ・静岡市の都市ブランドの確立検討（観光交流文化局 シティプロモーション課）

富士山の眺望が世界一美しい「日本平」や徳川家康公を祀る国宝「久能山東照宮」、ユネスコエコパークに登録された「南アルプス」などの世界水準の地域資源を活用し、「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」の実現を目指しています。

有度山フレンドシップ協定の締結
(県立美術館、県舞台芸術センター、日本平ホテル、久能山東照宮、日本平動物園によりフレンドシップ協定を締結。連携事業の実施)

ねらい

富士山世界遺産登録やH29 中部横断自動車道開通、オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ開催などのチャンスと、本市の世界に誇る地域資源を結びつけることで、本市の魅力発信と、戦略的なMICEの推進により交流人口を拡大する

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-③ 社会経済の変化に対応すべく、本市の強みを活かした戦略産業を選び、集中的に支援・育成するとともに、個々の企業のニーズに合わせた、きめ細かな支援と人材育成を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の拡大を推進します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
③ 戦略産業への支援・育成						7,005,590		
○戦略産業への集中的な支援・育成								
1	新規	総務局	情報管理課	ソフト	シズオカ型オープンデータ推進事業	6,900	49	1
2	新規	経済局	産業政策課	ソフト	戦略産業推進事業 (海洋エネルギー産業創出事業)	2,500	50	39
3	新規	経済局	産業振興課	ソフト	戦略産業推進事業 (海洋産業クラスター創造事業)	1,971	50	40
4	新規	経済局	産業振興課	ソフト	戦略産業推進事業 (物流関連産業立地促進事業)	1,000	50	40
5	新規	経済局	産業政策課	ソフト	戦略産業推進事業 (食品・ヘルスケア産業推進事業)	400	50	39
6	新規	経済局	産業政策課	ソフト	健康・食品産業クラスター形成事業	7,000	—	—
7	新規	経済局	産業振興課	ソフト	戦略産業推進事業 (ホビー産業育成支援事業)	4,000	50	40
8	新規	経済局	産業政策課	ソフト	戦略産業推進事業 (クリエイター活用推進事業)	1,295	50	39
9	新規	経済局	産業政策課	ソフト	戦略産業推進事業 (戦略産業振興プラットフォーム)	5,436	50	39
10	継続	経済局	産業振興課	ソフト	新商品等開発事業費助成	7,150	—	41
小計						37,652		
○企業立地促進事業助成の充実等								
11	拡充	経済局	産業振興課	ソフト	企業立地促進事業費助成	440,000	51	41
12	新規	経済局	産業政策課	ソフト	エネルギー関連産業立地促進事業	7,000	—	39
小計						447,000		
○大谷・小鹿地区等の企業立地用地の検討調査等								
13	新規	経済局	産業振興課	ソフト	企業立地用地検討調査事業 (大谷・小鹿、清水IC周辺)	10,000	52	40
14	継続	都市局	大谷・東静岡周 辺整備課	ハード	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	90,955	53	56
15	継続	都市局	大谷・東静岡周 辺整備課	ハード	東新インターチェンジ整備事業	1,012,883	54	56
小計						1,113,838		
○産業に必要なアクセス道路の整備								
16	継続	建設局	道路計画課	ハード	ICアクセス道路整備事業((主)井川湖御幸線、 (主)山脇大谷線、(主)清水富士宮線)	3,559,000	55	63
17	継続	建設局	道路計画課	ハード	国道1号静岡清バイパス整備促進事業	1,840,000	55	63
18	継続	建設局	道路計画課	ソフト	地域高規格道路(静岡南北道路) 調査検討事業	8,100	—	63
小計						5,407,100		

ハード	6,502,838
ソフト	502,752
計	7,005,590

＜重点プロジェクト(3-③)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局)	◎経済局、企画局、都市局、総務局、建設局
------------------	----------------------

産業振興の方向

- I. 本市の強みを活かし、社会経済環境の変化に対応しうる「**戦略産業**」を選び、ヒト・モノ・カネを集中的に投入したプロジェクトにより更なる成長を促す。
- II. 職員や支援施設スタッフ等が支援対象企業に積極的に関わり、「(仮称)戦略産業振興プラットフォーム」を活用し、あらゆる事業・制度を駆使することにより効果的な支援を行う。
- III. 生涯にわたる人材育成、企業側の受入体制の整備促進、人材と企業のマッチングを進めることにより、「**人材の確保、育成**」を行う。

I. 戦略産業の振興(選定視点)

① 海洋・エネルギー産業(A・C)

「エネルギー」及び「海洋」に関連する産業の集積を駿河湾に臨む本市の立地を活かすなどして推進

② 清水港・ロジスティクス産業(A・C)

清水港を核として大谷・小鹿地区をはじめとする内陸拠点への関連企業の立地用地の開発などロジスティクス産業の集積を推進

③ 食品・ヘルスケア産業(A・B)

ヘルスケア産業の集積に向けた検討とフーズサイエンスヒルズプロジェクト成果の商品化推進

④ 観光・ブランド産業(A・B)

地域資源の活用に加えて「ホビー」や「お茶」など世界的なブランド力のある産業を売りとして国内外からの着地型観光を振興。戦略産業をテーマとするMICEを推進

⑤ 文化・クリエイティブ産業(A・B)

クリエイターの集積に向けて企業や商店などでのクリエイターの活用とオンリーワン商品などの創出を推進

■「戦略産業」選定の視点

- A 世界的に市場拡大が見込まれる産業、社会的必要性が高まっている産業
- B 特長的な地域資源を活かした本市のブランド力を高める産業
- C 静岡市が持つ立地上のポテンシャルを活かせる産業

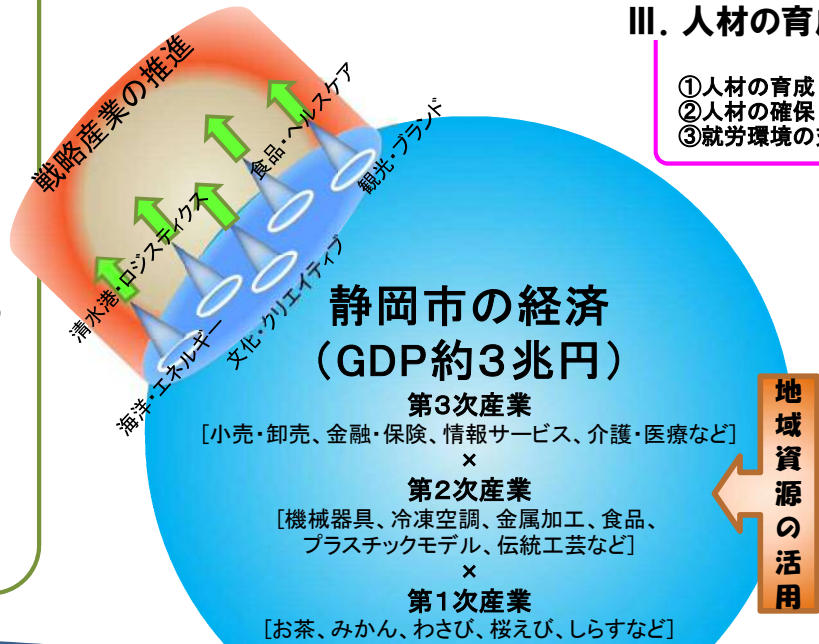
【産業振興の目標】

市内企業の成長・雇用創出

↑
重点プロジェクトの推進 + 既存施策による下支え
(産業振興プランの推進)

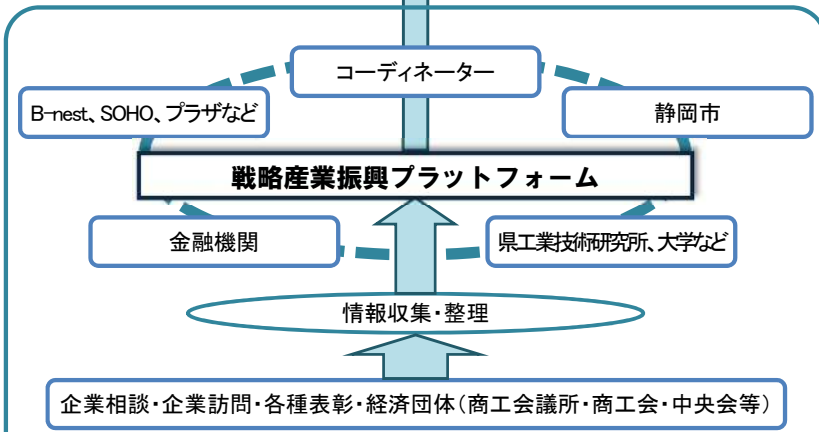
III. 人材の育成・確保

- ① 人材の育成
- ② 人材の確保
- ③ 就労環境の充実



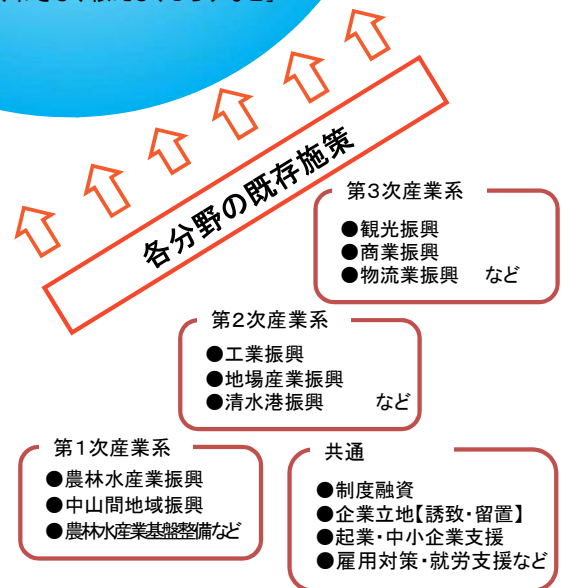
多様な手段を活用して徹底的に支援

技術分野、商品化分野、販路分野



II. (仮称)戦略産業振興プラットフォームによる支援

(個々の企業に密着した支援)



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
<p>4-① 人々が、地域で自分らしく生きがいを持って暮らし続けられるよう、「静岡型地域包括ケアシステムを構築する」とともに、恵まれた生活環境を活かし「健康寿命延伸の施策を拡充する」ことで、世界に誇れる「健康長寿の都市」を目指します。</p>	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
① 静岡型地域包括ケアシステムの構築・健康長寿の延伸						1,512,163		
○地域包括ケアシステムの構築								
1	新規	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	地域支え合い人材養成講座 「生きがい やりがい 生涯現役」	1,140	57	26
2	継続	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	S型デイサービス事業	68,939	—	—
3	拡充	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	地域包括支援センター事業	694,006	—	—
4	新規	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	地域包括支援センターの今後のあり方に関する 調査研究事業	3,000	—	26
5	新規	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	生活支援体制整備事業	9,816	58	94
6	継続	保健福祉局	介護保険課	ソフト	在宅医療推進事業	5,196	—	—
7	新規	保健福祉局	介護保険課	ソフト	元気いきいき！シニアサポーター事業	17,000	59	—
8	拡充	保健福祉局	介護保険課	ソフト	認知症疾患医療センター運営事業	7,088	60	27
9	新規	病院局	清水病院 病院総務課	ソフト	清水病院地域包括ケア病棟 (退院支援の強化・地域ケアマネージャー室の設置)	40,500	—	—
10	継続	都市局	住宅政策課	ハード ソフト	公営住宅ストック総合改善事業	454,201	—	61
11	継続	都市局	住宅政策課	ソフト	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	111,255	—	61
小計						1,412,141	/	/
○健康寿命の延伸								
12	新規	保健福祉局	健康づくり推進課	ソフト	元気静岡マイレージ事業	2,823	—	29
13	新規	保健福祉局	保険年金管理課	ソフト	宿泊型糖尿病予防教室(国保)	5,016	—	—
小計						7,839	/	/
○その他								
14	新規	保健福祉局	福祉総務課	ソフト	生活困窮者自立支援事業	59,180	61	23
15	新規 継続	保健福祉局	精神保健福祉課	ソフト	精神障害者地域移行支援事業	15,003	—	—
16	新規	病院局	清水病院 病院総務課	ソフト	清水病院医学生修学資金貸与事業【再掲】	18,000	40	100
小計						92,183	/	/

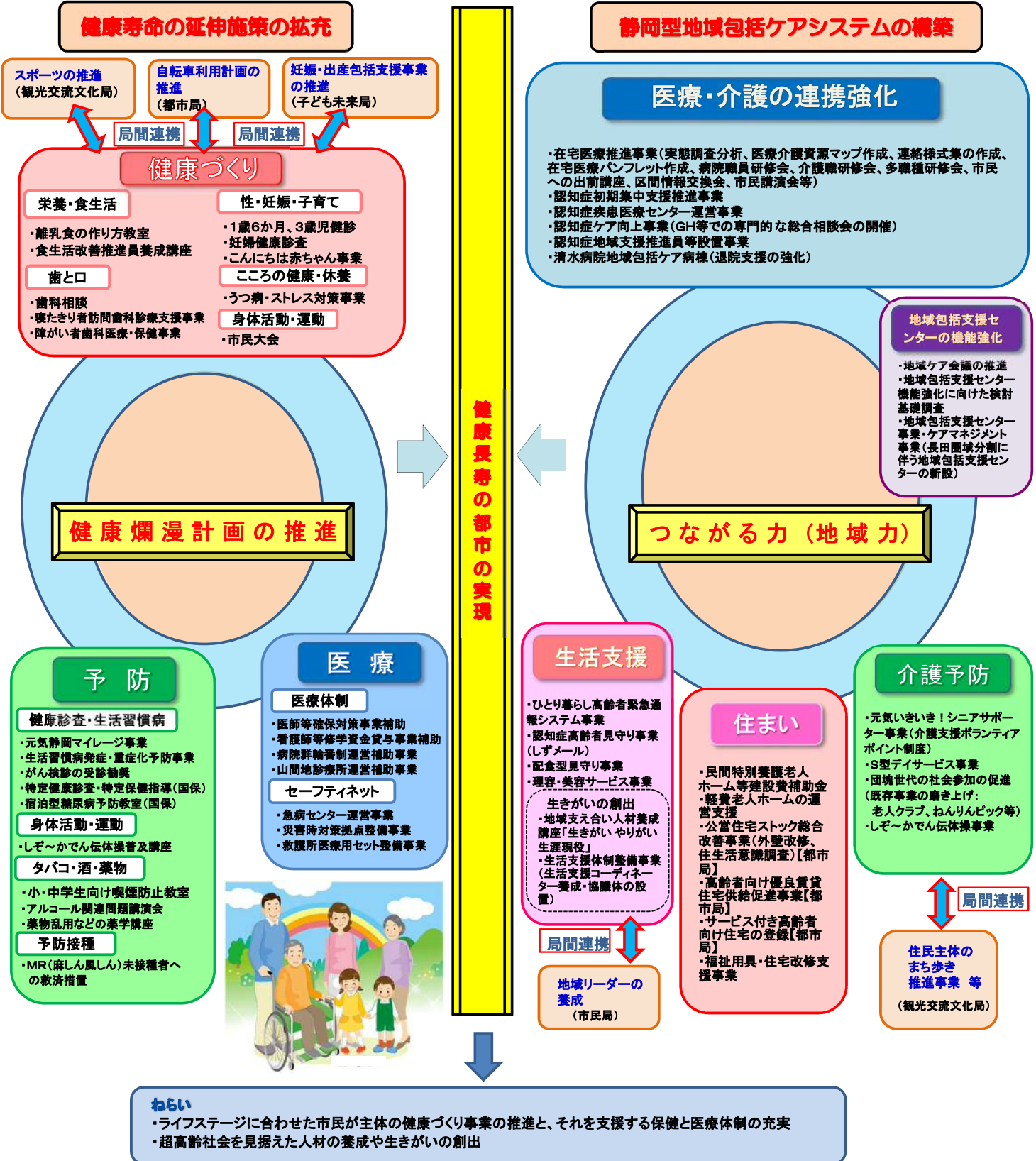
ハード	433,701
ソフト	1,078,462
計	1,512,163

<重点プロジェクト(4-①)のイメージ>

主な関係局 (◎は代表局) ◎保健福祉局、病院局、都市局、市民局(生活文化局)、観光文化交流局(生活文化局、経済局)、子ども未来局

現状

1. 政令指定都市における「健康寿命」ランキングで、第2位である(男女平均72.96歳)。
2. 本市の65歳以上の高齢者の割合は、2014年(平成26年)3月末現在で26.9%と4人に1人であるが、2025年(平成37年)には31.8%と3人に1人が高齢者となる見込みである。
3. 市民のライフスタイルの変化等に伴い、疾病構造が悪性新生物(癌)・心疾患・糖尿病をはじめとする生活習慣病を中心とするものになっている。



われい

- ライフステージに合わせた市民が主体の健康づくり事業の推進と、それを支援する保健と医療体制の充実
- 超高齢社会を見据えた人材の養成や生きがいの創出

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-② すべての子どもたちが、すくすくと笑顔で成長し、また、人々がワークライフバランスに取り組むことで、多様な生き方を選択でき、生きがいや喜びを感じられるよう、子ども本位の子ども・子育て支援を推進し、子育てしやすい都市を目指します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
② 静岡型子ども・子育て支援の推進						10,488,207		
○局間連携による認定こども園、放課後児童クラブ・子供教室の整備の推進等								
1	継続	子ども未来局	子ども未来課	ハード	私立認定こども園整備事業 (認定こども園への移行)	688,314	62	35
2	新規	子ども未来局	子ども未来課	ハード	放課後児童クラブ建設事業 (放課後児童クラブ室の整備)	180,722	63	34
3	新規	子ども未来局	子ども未来課	ソフト	放課後児童クラブ運営費等補助事業 (民間事業者の参入促進支援)	42,790	63	34
4	継続	子ども未来局	子ども未来課	ソフト	放課後児童クラブ運営事業 (放課後児童クラブの運営・開設時間の延長)	512,427	63	34
5	新規	子ども未来局	幼保支援課	ソフト	市立こども園等給付事業	3,455,964	—	35
6	拡充	子ども未来局	幼保支援課	ソフト	私立こども園・保育所等給付事業(こども園分)	1,432,340	—	35
7	新規	子ども未来局	こども園課	ハード	市立こども園建設事業 (安東こども園)	45,152	62	36
8	拡充	子ども未来局	こども園課	ソフト	市立こども園等運営事業	2,003,340	—	36
9	拡充	教育委員会事務局	教育総務課	ソフト	放課後子ども教室推進事業	36,821	64	69
小計						8,397,870		
○待機児童の解消に向けた受入枠の拡大(+1,163人)								
10	拡充	子ども未来局	子ども未来課	ハード	私立保育所建替事業	628,100	62	34
11	拡充	子ども未来局	子ども未来課	ハード	認定こども園等の新設	283,498	62	35
12	継続	子ども未来局	子ども未来課	ハード	小規模保育の新設	89,250	62	34
	継続	子ども未来局	子ども未来課	ハード	私立認定こども園整備事業 (認定こども園への移行)【再掲】	688,314	62	35
	新規	子ども未来局	こども園課	ハード	市立こども園建設事業 (安東こども園)【再掲】	45,152	62	36
小計 ※再掲を含む						1,734,314		
○子育て世代包括支援センターの設置								
13	新規	保健福祉局	健康づくり推進課	ソフト	子育て世代包括支援センター事業 (利用者支援事業(母子保健型))	408	—	29
○子どもの貧困対策の積極的な展開								
14	新規	保健福祉局	福祉総務課	ソフト	子どもの学習援助事業	5,000	65	23
15	新規	子ども未来局	子ども未来課	ソフト	放課後児童クラブ保護者負担金減免補填補助 事業(利用負担額の軽減)	50,000	—	34
16	新規	子ども未来局	子ども家庭課	ソフト	学習支援・生活支援事業	16,300	65	37
17	拡充	子ども未来局	子ども家庭課	ソフト	母子生活支援・施設入所措置事業 (学習支援にかかる加算)	1,308	—	—
18	拡充	子ども未来局	子ども家庭課	ソフト	母子家庭自立支援給付金、就労支援事業	30,094	65	36
19	拡充	子ども未来局	児童相談所	ソフト	要保護児童自立支援事業	24,205	65	37
20	拡充	子ども未来局	児童相談所	ソフト	児童養護施設入所措置事業 (学習支援にかかる加算)	5,460	—	—
21	拡充	教育委員会事務局	学校教育課	ソフト	スクールソーシャルワーカー活用事業	12,854	65	71
22	拡充	教育委員会事務局	学事課	ソフト	奨学金貸付事業【再掲】	50,028	—	72
小計						195,249		

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
○学校教育現場への支援の拡充								
24	継続	教育委員会事務局	教育総務課	ソフト	学校応援団推進事業	15,677	—	69
25	拡充	教育委員会事務局	学校教育課	ソフト	中学校部活動指導員配置事業	33,600	66	71
26	拡充	教育委員会事務局	学校教育課	ソフト	特別支援教育支援員派遣事業	107,564	66	71
小計						156,841		
○その他								
27	新規	子ども未来局	子ども未来課	ソフト	次世代育成支援対策推進事業 (ワーク・ライフ・バランス)	1,288	—	—
28	新規	子ども未来局	青少年育成課	ソフト	ひきこもり対策推進事業	21,265	67	35
29	継続	子ども未来局	子ども家庭課	ソフト	不妊治療費助成	231,125	68	37
30	継続	経済局	商業労政課	ソフト	事業所内保育施設整備費助成	7,670	—	—
31	新規	教育委員会事務局	教育総務課	ソフト	市立小中学校適正規模化検討事業	1,204	69	69
32	継続	教育委員会事務局	教育施設課	ハード	学校施設改築・長寿命化事業(森下小学校)	380,250	—	70
33	継続	教育委員会事務局	教育施設課	ハード	小・中学校校舎トイレリフレッシュ事業	94,189	—	70
小計						736,991		

ハード	2,389,475
ソフト	8,098,732
計	10,488,207

<重点プロジェクト(4-②)のイメージ>

主な関係局 (◎は代表局)	◎子ども未来局、保健福祉局、教育委員会事務局、市民局(生活文化局)、経済局
------------------	---------------------------------------

<現状>
 ●就学前児童の減少。理想の子どもの数に比べ実際の数は下回る。
 ●子育てで家庭から見た子育ての環境や支援の満足度は十分ではなく、孤立した家庭も存在する。
 ●待機児童対策のほか、教育・保育などに多様なニーズが求められている。
 ●障害児、ひとり親家庭、虐待や貧困の課題を抱える家庭などに対する特別な支援が求められている。



<課題>
 ●子育てに関する悩みや不安を払拭し、安心して子どもを育てられるよう、結婚・妊娠・出産・子育てに対する包括的支援が必要
 ●待機児童の解消や様々なニーズに対応するための子育て支援体制の整備が必要
 ●特別な支援が必要な子どもやその家庭に対する支援の強化が必要
 ●子育て家庭が地域で孤立しないために、地域全体で子どもと子育て家庭を支える環境の整備が必要

子ども本位の視点に立って

<課題解決のための施策体系>

子ども本位の視点に立ち、すべての子どもが健やかに成長することができるように社会全体で支えていくまちの実現

【1すべての子どもの育ちを支援するまちづくり】

①子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

- 子どもの健やかな心身を育むための支援（就学前児童）
- 子どもの健全育成促進と自立への支援（就学児童）
- 虐待を受けている児童など配慮を必要とする子どもとその家庭への支援
- 発達の遅れや障害のある子どもとその家庭への支援
- 厳しい環境に置かれた子どもとその家庭への支援（子どもの貧困対策）

子ども未来局
保健福祉局
教育委員会事務局

【主な取組み・事業】

- 待機児童対策の推進
- 認定こども園・保育所等における教育・保育
- 里親支援など社会的養護の充実
- 放課後子ども対策の推進【局間連携】
(放課後児童クラブ・放課後子ども教室の拡充)
- 子どもの貧困対策(学習・生活・就労支援)【局間連携】
- いじめ・不登校対策【局間連携】
～子ども若者相談事業・スクールソーシャルワーカー～
- ひきこもり対策の推進
- 障害児に対する支援の充実【局間連携】
- 市立小中学校の適正規模化の検討
- 学校教育活動を通じた食育の推進、学校給食の充実
- 学校施設の改築・長寿命化
- 学校生活環境の改善～MIRAIプロジェクト事業～
- 特別支援教育の充実

【保育量の確保】
(H27)1,163人分

【児童クラブ室の整備】
(H27)417人分

認定こども園の推進

森下小学校の改築

【2子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちづくり】

③喜びと安心感をもって産み育てることができる環境づくり

- 結婚・妊娠・出産期から子育て期に至る切れ目のない支援や医療保健体制の充実
- 子育て・親支援サービスの充実

子ども未来局
保健福祉局

【主な取組み・事業】

- 妊娠・出産に対する包括的支援の充実【局間連携】
- 不妊治療費助成事業
- 子ども医療費助成事業・母子医療費助成事業
- 子育て支援センター
- 子ども未来サポーター・保育コーディネーター【局間連携】
- 病児・病後児保育事業
- ファミリー・サポート・センター事業、緊急サポートセンター事業
- 子育てハブネットワーク事業
- ワーク・ライフ・バランスの推進【局間連携】

子育て支援センター拡充
子ども未来サポーター拡充

【2子育てと仕事の両立を支援する環境づくり】

④子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

- 多様な保育ニーズに対応するための支援
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み
- 男性の子育てへの参加推進

子ども未来局
市民局(生活文化局)
経済局

【3地域全体で子どもと子育てを支援するまちづくり】

⑤地域全体で子どもと子育て家庭を支える環境づくり

- 地域における子育て支援活動
 - ・子どもの健全育成活動の促進
- 子どもと子育て家庭の安全
 - ・安心な生活環境の確保

子ども未来局
教育委員会事務局

【主な取組み・事業】

- 地域の子育て支援活動を支援
- ファミリー・サポート・センター事業、緊急サポートセンター事業(再掲)
- 放課後子ども対策の推進(再掲)【局間連携】

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
<p>4-③ 本市のコンパクトで平坦な地形と、温暖な気候を活かし、健康・環境志向の乗り物である自転車を利用しやすいまちの実現を目指していくとともに、バリアフリー化を進めるなど歩いて楽しいまちの整備を推進します。</p>	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
③ 健康都市の実現に向けた基盤整備						2,619,454		
○自転車を利用しやすいまち								
1	新規	都市局	交通政策課	ソフト	自転車利用計画推進事業	7,000	70	54
2	継続	建設局	道路保全課	ハード	交通安全施設整備事業 (自転車走行空間ネットワーク整備事業)	277,000	71	64
小計						284,000		
○歩いて楽しいまち								
3	継続	都市局	都市計画課	ハード	静岡駅北口周辺整備事業(紺屋町地区)	2,000	72	53
4	継続	都市局	市街地整備課	ハード	静岡駅南口周辺整備事業	121,200	—	55
5	拡充	都市局	都市計画課	ソフト	歩いて楽しいまちづくり推進事業 (駿府城公園周辺地区歩行者優先の空間づくり 検討(社会実験等)等)	7,500	73	53
6	継続	都市局	市街地整備課	ハード	安倍川駅周辺整備事業	912,244	74	56
7	継続	都市局	清水駅周辺整備課	ハード	草薙駅周辺整備事業【再掲】	1,202,122	17	57
8	継続	都市局	清水駅周辺整備課	ソフト	草薙駅周辺エリアマネジメント支援業務【再掲】	8,000	—	57
9	新規	都市局	都市計画課	ソフト	立地適正化計画推進事業	12,000	—	53
10	継続	都市局	交通政策課	ハード	鉄道駅バリアフリー化の促進	9,310	—	54
11	継続	建設局	道路保全課	ハード	交通安全施設整備事業 (バリアフリー道路特定事業)	38,000	—	64
12	拡充	観光交流文化局 (経済局)	観光交流課(観光・シティプロモーション課)	ソフト	東海道歴史街道まち歩き推進事業【再掲】 (定番まち歩きコース造成)	3,000	9	16
13	継続	都市局	緑地政策課 公園整備課	ハード	駿府城公園「桜の名所」づくり事業【再掲】	20,078	6	57,59
小計						2,335,454		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	2,581,954
ソフト	37,500
計	2,619,454

＜重点プロジェクト(4-③)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局)	◎都市局、観光交流文化局(経済局)、建設局
------------------	-----------------------

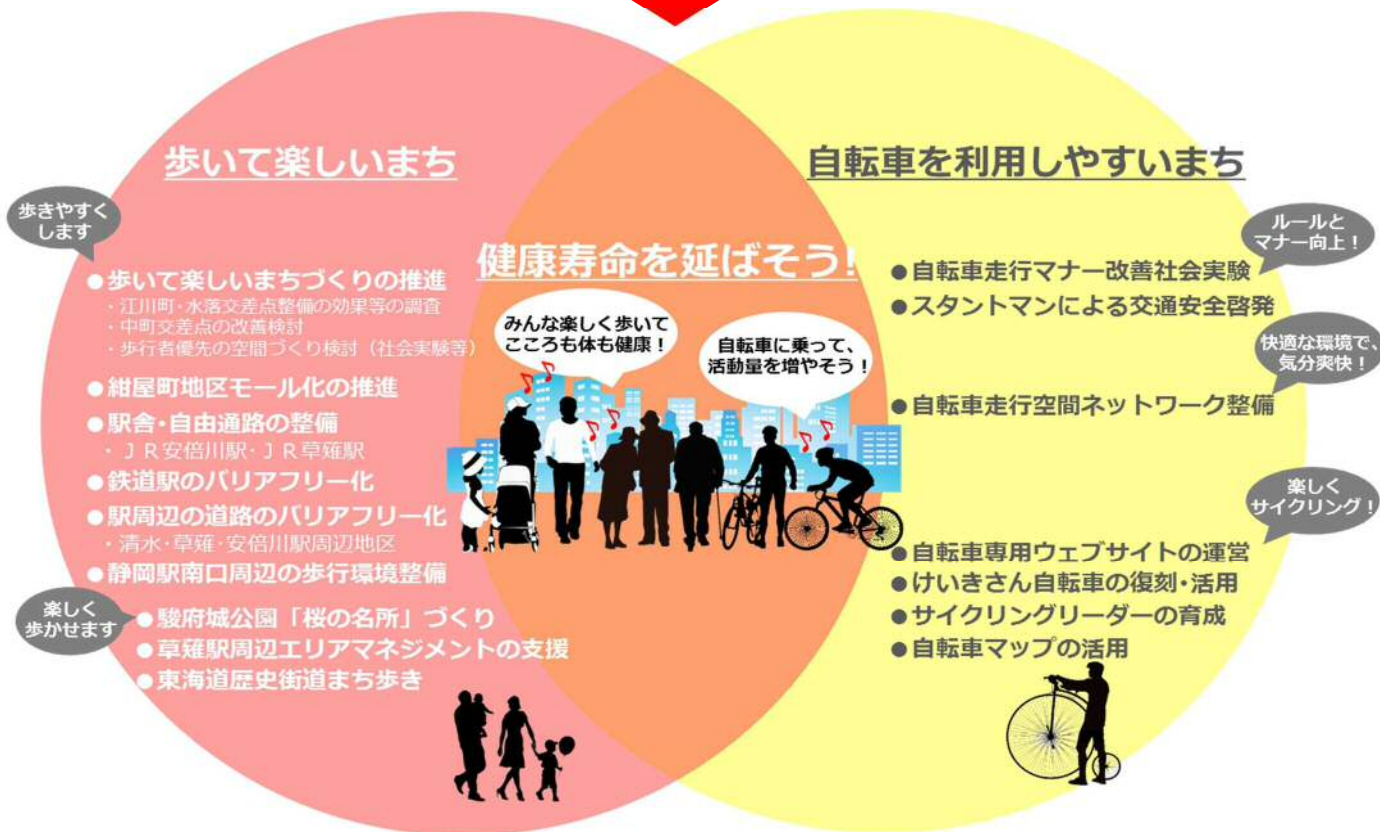
現状

- 政令指定都市における**健康寿命ランキング**で**第2位**(男女平均72.96歳)
- 地理的特性から自転車利用に適したまちだが、環境づくりが十分でなく、**安心・安全に自転車を利用できない**
- 核エリア(静岡駅北口周辺、新静岡駅周辺、東静岡駅周辺、清水駅周辺)の整備で歩行環境の改善が図られたが、**点での整備に留まっており、中心市街地の歩行者交通量が一時の水準に回復していない**



ねらい

- 自転車の利用環境の改善と中心市街地での回遊性の向上を図ることにより、「**自転車を利用しやすいまち**」の実現と「**歩いて楽しいまち**」の整備を推進する
- 自転車利用と徒歩を増やすことで「**市民の活動量の増・こころの充実**」を図り、**健康に暮らし続けられるまちづくり**を目指す



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-① 津波避難施設、防災スマートタウンの整備や、消防救急広域化の推進により、南海トラフ巨大地震に備えた災害対応力を強化するなど、市民生活を脅かす様々な危機に対し、被害を最小限に抑えるため、危機管理体制を確立します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立						16,222,588		
○津波避難施設の整備								
1	拡充	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ハード	津波避難誘導設備設置事業 (路面シート、看板)	133,000	75	2
2	拡充	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ハード	津波避難施設整備事業 (避難タワー)	508,245	76	2
3	継続	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ハード	津波避難ビル整備事業費助成	60,000	—	2
小計						701,245	/	/
○公共施設等の耐震化								
4	継続	経済局	清水港振興課	ハード	静岡市岸壁耐震補強事業	5,000	—	43
5	新規	都市局	交通政策課	ハード	鉄道施設安全対策事業費助成 (重要橋梁(栗原)耐震補強)	13,333	—	55
6	継続	都市局	建築指導課	ハード ソフト	建物の耐震化等助成	195,476	77	60
7	継続	都市局	建築指導課	ソフト	ブロック塀等耐震改修事業費助成	10,400	—	60
8	拡充	都市局	建築指導課	ソフト	要緊急安全確認大規模建築物の 耐震診断事業	95,125	78	59
9	継続	建設局	河川課	ハード	河川構造物耐震対策事業	180,000	79	63
10	継続	建設局	道路保全課 (道路計画課)	ハード	橋りょう耐震化事業	694,200	80	64
小計						1,193,534	/	/
○防災・減災のための情報発信・教育等								
11	新規	総務局	危機管理総室 (危機管理課)	ソフト	災害対応力強化事業	14,000	81	1
12	新規	総務局	危機管理総室 (危機管理課)	ソフト	防災情報のICT化促進事業	1,200	82	1
13	継続	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ハード	自主防災活動支援事業	60,000	—	2
14	拡充	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ソフト	緊急情報防災ラジオ普及事業	126,103	83	2
15	新規	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ソフト	津波防災地域づくり推進計画策定事業	6,000	—	—
16	継続	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ソフト	津波避難教育事業 (小中学校図上学習)	2,050	—	2
17	継続	建設局	道路保全課	ソフト	道路自然災害防除事業 (道路情報等提供システムの構築)	23,850	—	64
18	新規	消防局	警防課	ソフト	消防活動支援情報のICT化促進事業	4,990	84	66
19	拡充	教育委員会 事務局	学校教育課	ソフト	防災教育推進事業	8,290	85	71
小計						246,483	/	/

No.	区分	局	課	区分	事業名	H27	資料② ページ	資料③ ページ
○緊急輸送路の整備								
20	継続	都市局	建築指導課	ハード	狭あい道路拡幅整備事業	81,723	—	60
21	継続	建設局	道路計画課	ハード	ICアクセス道路の整備【再掲】	3,559,000	55	63
22	継続	建設局	道路計画課	ハード	国道1号静岡バイパス整備促進事業【再掲】	1,840,000	55	63
23	継続	建設局	道路計画課	ソフト	地域高規格道路(静岡南北道路) 調査検討事業【再掲】	8,100	—	63
24	継続	建設局	道路保全課	ハード	道路自然災害防除事業 (道路トンネル補修事業)	103,000	86	64
25	継続	建設局	道路保全課	ハード	道路自然災害防除事業 (法面对策等)	414,150	86	64
26	継続	建設局	道路保全課	ハード	交通安全施設整備事業 (無電柱化事業)	184,000	—	64
小計						6,189,973		
○消防救急広域化による消防防災体制の強化								
27	拡充	消防局	消防総務課	ハード	消防庁舎施設整備事業	4,393	87	66
28	継続	消防局	消防総務課 指令課	ハード	消防救急広域化推進事業	2,630,912	88	66,68
29	新規	消防局	警防課	ハード	常備消防装備整備費(公共)	424,564	—	—
30	新規	消防局	指令課	ソフト	保有映像情報相互提供機器改修事業	12,000	—	67
小計						3,071,869		
○その他								
31	新規	環境局	環境創造課 (環境総務課)	ソフト	防災スマート街区推進事業	500	—	20
32	新規	保健福祉局	保健衛生総務課	ソフト	災害時医療対策事業	33,958	89	28
33	継続	保健福祉局	生活衛生課	ソフト	災害時救護所管理事業	76,026	90	32
34	継続	上下水道局	水道総務課	ハード	上下水道局庁舎建設事業 (災害時活動拠点の整備等)	4,609,000	91	—
35	新規	上下水道局	下水道施設課	ハード	下水道施設津波対策事業	100,000	—	—
小計						4,819,484		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	15,799,996
ソフト	422,592
計	16,222,588

<重点プロジェクト(5-①)のイメージ>

主な関係局
(◎は代表局)

◎総務局、企画局、環境局、保健福祉局、経済局、都市局、建設局、消防局、上下水道局、教育委員会事務局

南海トラフ巨大地震や風水害等、あらゆる危機に対する市民生活の不安

従来の施策の充実・強化や甚大な津波想定への対応など、新たな課題に対する対策を推進し、「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」を目指す。



巨大地震

5 防災都市 ②

台風・豪雨



・雨水幹線の整備



・津波避難タワーの設置

ソフト対策

・防災スマート街区の認定

ハード対策

自助

共助

<市民が自ら備える>
・住宅の耐震化
・緊急情報防災ラジオ
・食料の備蓄
・防災訓練の参加

<地域で支えあう>
・自主防災組織
・防災倉庫の充実
・要配慮者の支援

・由比・用宗漁港の津波対策

地震・津波対策
アクションプログラム



・浜川水門の耐震



自助・共助を支える
公助(危機管理体制)の強化

静岡市国民保護計画

公助
危機管理体制

<国・県をはじめ、他の機関等と連携した応急対策活動体制>

- ・災害応急対策業務の見直し
- ・医療救護本部の体制強化
- ・道路情報等提供システムの充実
- ・保有映像情報の相互提供
- ・防災情報のICT化 など

・消防救急広域化(3市2町の拠点)



・消防総合情報システムの整備

未知の危機

(テロ、感染症など)



火災



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-② 頻発するゲリラ豪雨や、巨大化する台風などによる風水害の発生に的確に対処していくため、国・県と連携して浸水対策に総合的に取り組むとともに、がけ崩れや地すべりなどから市民の生命・財産を守るため、土砂災害対策を推進します。	

<主な事業>

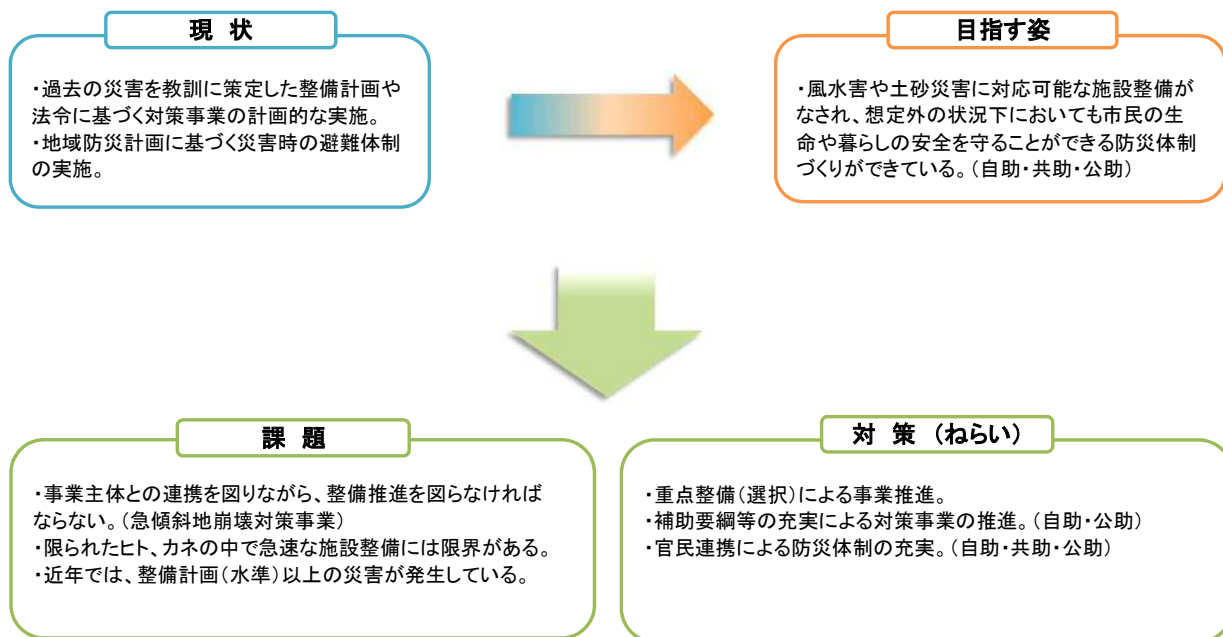
No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
② 浸水・土砂災害対策の拡充等						3,035,331		
○浸水災害対策								
1	拡充	総務局	危機管理総室 (防災対策課)	ソフト	緊急情報防災ラジオ導入事業【再掲】	126,103	83	2
2	継続	建設局	河川課	ハード	浸水対策推進プラン(河川改修)	342,600	92	63
3	継続	上下水道局	下水道建設課	ハード	浸水対策推進プラン(下水道整備)	1,784,018	93	—
4	継続	上下水道局	下水道維持課	ソフト	雨水貯留浸透施設設置助成制度	5,200	—	—
5	継続	上下水道局	下水道計画課	ソフト	内水ハザードマップの整備	30,010	—	—
6	継続	教育委員会事務局	教育施設課	ハード	浸水対策推進プラン (市立高等学校雨水貯留施設整備事業)	258,000	94	71
小計						2,545,931	/	/
○土砂災害対策								
7	継続	都市局	公園整備課	ハード	八幡山公園崩壊防止対策事業	108,400	—	59
8	継続	都市局	公園整備課	ハード	西ノ谷公園崩壊防止対策事業	11,000	—	59
9	継続	建設局	建設政策課	ハード	急傾斜地崩壊対策事業	68,000	95	62
10	継続	建設局	建設政策課	ハード	急傾斜地崩壊対策事業に関する負担金	55,000	—	—
小計						242,400	/	/
○その他								
11	新規	経済局・建設局	—	ハード	台風災害への臨時対応 (河川、道路、農道、林道、治山)	247,000	—	—

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	2,874,018
ソフト	161,313
計	3,035,331

＜重点プロジェクト(5-②)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局)	◎総務局、建設局、都市局、上下水道局
------------------	--------------------




急傾斜地崩壊対策

(建設局)


- ①市急傾斜地崩壊対策事業(建設政策課)
(指定促進測量、市施工工事、既成宅地土砂災害防止施設設置事業補助金[対象施設拡充予定])
- ②急傾斜地崩壊対策事業に関する負担金(建設政策課)

(都市局)

- ①がけ地近接危険住宅移転事業補助制度(住宅政策課)



急傾斜地崩壊対策施設



(その他): 土砂災害防止法

- ・土砂災害(特別)警戒区域の指定に伴う建築抑制

浸水対策プラン

(建設局)

- ①広域河川改修事業(防災・安全交付金)(河川課)
- ②浸水対策推進プラン(河川改修)(河川課)
- ③雨水流出抑制対策(河川課)

(上下水道局)

- ①浸水対策推進プラン(下水道整備)(下水道建設課)
- ②雨水貯留浸透施設設置助成制度(下水道維持課)
- ③内水ハザードマップの整備(下水道計画課)



河川整備状況



浸水被害状況



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
<p>5-③ 災害リスクの軽減やエネルギーの地産地消の観点から、産学官の連携による清水港LNG基地周辺へのエネルギー関連産業の立地の促進や、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出が少ない、再生可能エネルギーの導入・普及促進を目指します。</p>	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
③ エネルギー関連産業の立地促進と再生可能エネルギーの導入・普及促進						33,000		
1	新規	環境局	環境創造課 (環境総務課)	ソフト	里地里山地域における持続可能なまちづくり モデル調査研究事業	10,000	96	20
2	新規	環境局	環境創造課 (環境総務課)	ソフト	防災スマート街区推進事業【再掲】	500	—	20
3	継続	環境局	環境創造課 (環境総務課)	ソフト	地球温暖化対策啓発事業	1,500	—	20
4	新規	環境局	環境創造課 (環境総務課)	ソフト	中小企業向け省エネルギー対策支援事業	11,500	97	20
5	新規	経済局	産業政策課	ソフト	エネルギー関連産業立地促進事業【再掲】	7,000	—	39
6	新規	経済局	産業政策課	ソフト	戦略産業推進事業 (海洋エネルギー産業創出事業)【再掲】	2,500	50	39

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	0
ソフト	33,000
計	33,000

＜重点プロジェクト(5-③)のイメージ＞

主な関係局
(◎は代表局)

◎企画局、総務局(危機管理部)、環境局、経済局

現状

- ・東日本大震災による福島第一原発事故を契機に、災害時における電力供給を始めとするエネルギーの自給に対する関心が高まっている。
- ・清水港にはLNG基地があり、災害時におけるエネルギー供給拠点としてその利活用が期待されている。一方、周辺地域の港湾施設等では、緊急時の電力確保が課題となっている。
- ・国においては、発電事業の自由化に続き、電気小売業参入の全面自由化、そして発電と送配電事業の法的分離に向けた取組が進んでおり、FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)導入後は、太陽光発電を中心に、発電事業への新たな主体の参画も進んでいる。

中山間地域

【中山間地域における持続可能なまちづくり】

災害発生時、孤立化する恐れの高い中山間地域を対象に、太陽光や小水力、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを活用したマネジメントを行うことにより、エネルギーの地産地消を図る。

また、日常生活においては、地域活性化の一助となるよう、固定価格買取制度の活用や地域ファンドを活用した事業スキームの構築を目指す。



都市部

【エネルギーの効率的・効果的な利活用】

- ・環境への配慮と経済の発展を両立する「グリーン経済」の実現を目指し、事業活動に伴う環境負荷の低減を図る環境マネジメントシステムの導入や省エネルギー設備導入に伴う支援を行い、省エネルギー・省資源への取り組みを促進する。
- ・次世代のエネルギーとして期待される「水素」の利活用について官民が連携し検討する。
- ・市内にある再生可能エネルギー設備を活用し、環境教育やイベント等を通じた普及啓発を行うことで、再生可能エネルギーの普及とともに地球温暖化に対する市民の意識醸成を図る。



清水港周辺

【清水港周辺のインフラ活用とLNG基地を活用したエネルギー関連産業の誘致】

国際拠点港湾清水港周辺には、天然ガス広域パイプラインや、新東名・東名・東清水変電所などのインフラが整備されており、エネルギー関連産業の集積には、他地域より優位性を持っている。

このことから、多くの工場やLNG基地が立地している条件を活かし、エネルギー関連産業の立地促進による産業振興の可能性を検討する。



ねらい

本市のエネルギー施策について、災害リスクの軽減やエネルギーの地産地消による地域振興及び本市の立地を活かしたエネルギー関連産業の立地促進と産学官の連携による産業振興の可能性の検討を通じ、市民生活の安心・安全の確保、地域経済の活性化、低炭素社会の実現等、総合的な視点に立って、官民が連携して取り組んでいきます。

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-① すべての市民が、国籍や文化、性別、障がいの有無などの違いを乗り越え、「和の精神」を持って共に暮らし続けられるよう、家康公四百年祭の開催を契機に「家康公が愛したまち」に相応しい天下泰平の平和都市を目指します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
① 多様な人々による共生						2,406,018		
○女性の活躍の推進								
1	新規	市民局 (生活文化局)	男女参画・多文化共生課(男女参画・市民協働推進課)	ソフト	女性の活躍促進事業 (女性の活躍応援プロジェクト)	3,833	98	7
2	新規	子ども未来局	子ども未来課	ソフト	次世代育成支援対策推進事業 (ワーク・ライフ・バランス)【再掲】	1,288	—	—
3	新規	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (首都圏からのインターンシップ促進)【再掲】	1,854	36	42
4	新規	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (女子大学生キャリアセミナー)【再掲】	845	36	42
5	継続	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (リクルート・カフェ首都圏開催)【再掲】	2,000	36	42
6	継続	経済局	商業労政課	ソフト	若年者地域企業就職促進事業 (しずおか地元企業魅力発見プロジェクト)【再掲】	1,500	36	42
7	継続	経済局	商業労政課	ソフト	事業所内保育施設整備費助成 【再掲】	7,670	—	—
小計						18,990		
○異文化コミュニケーションの啓発と英語教育の拡充等による多文化共生の推進								
8	継続	市民局 (生活文化局)	男女参画・多文化共生課(男女参画・市民協働推進課)	ソフト	多文化共生啓発事業 (異文化コミュニケーション体験フェア等)	2,560	99	8
9	拡充	教育委員会事務局	教育総務課	ソフト	ALT活用事業 (英語教育の拡充による多文化共生の推進)	181,168	100	69
10	拡充	教育委員会事務局	教育センター	ソフト	教職員海外派遣事業	2,075	—	72
小計						185,803		
○国際交流の推進								
11	継続	企画局	企画課	ソフト	姉妹都市交流事業	2,364	—	15
12	新規	観光交流文化局 (企画局)	観光交流課 (企画課)	ソフト	G8サミット関係閣僚会合誘致推進事業【再掲】	20,000	43	15
13	新規	観光交流文化局 (企画局)	観光交流課 (企画課)	ソフト	日本・スペイン・シンポジウム開催事業【再掲】	15,000	41	15
14	継続	子ども未来局	青少年育成課	ソフト	青少年国際親善交流事業	785	—	—
小計						38,149		
○心のバリアフリーの推進								
15	継続	保健福祉局	障害者福祉課	ソフト	心のバリアフリーイベント	1,400	—	—
16	継続	都市局	市街地整備課	ハード	安倍川駅周辺整備事業 (バリアフリー化等)【再掲】	912,244	74	56
17	継続	都市局	清水駅周辺整備課	ハード	草薙駅周辺整備事業 (バリアフリー化等)【再掲】	1,202,122	17	57
18	継続	都市局	交通政策課	ハード	鉄道駅バリアフリー化の促進【再掲】	9,310	—	54
19	継続	建設局	道路保全課	ハード	交通安全施設整備事業 (バリアフリー道路特定事業)【再掲】	38,000	—	64
小計						2,163,076		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	2,161,676
ソフト	244,342
計	2,406,018

＜重点プロジェクト(6-①)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局)	◎市民局(生活文化局)、観光文化交流局(地域活性化事業推進本部、企画局)、保健福祉局、子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育委員会事務局
------------------	--

【現状】 様々な文化や性別の違い、障がいの有無などに対する人々の意識が、まだまだ、豊かな社会づくりの壁となっています。
 (市民アンケート)

①差別を受けたと感じたことがある外国人の割合	約50%
②社会通念・慣習など男性の方が優遇と感じる人の割合	約68%
③障がいに対する差別や偏見があると思う市民の割合	約81%

ねらい

家康公の駿府大御所時代より継承されている異なる価値観を受け入れることができる潜在的な市民性と風土を活かしながら、多様性を社会の豊かさと捉え、地域の活力につなげることで、お互いの違いを認め合い、だれもが安心して暮らせる共生都市を目指します。



平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-② ユネスコエコパークに登録された南アルプスや、安倍川、藁科川、興津川などの清流、水深2,500mを誇る恵み豊かな駿河湾など、本市が有する多彩な自然環境の保全と適正な活用を図りながら、人々と自然との共生を推進します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生						587,438		
○南アルプスユネスコエコパークの保全と活用による人と自然との共生								
1	拡充	環境局	環境創造課 (清流の都創造課)	ソフト	南アルプスユネスコエコパーク 管理運営計画推進事業	30,947	101	20
2	拡充	環境局	環境創造課 (環境総務課) (清流の都創造課) 環境保全課 環境保健研究所	ソフト	南アルプス環境調査	30,934	102	20
3	拡充	経済局	治山林道課	ハード	林道維持管理事業(エコパーク関連)	117,800	103	48
4	新規	経済局	中山間地振興課	ハード	南アルプス周辺登山道整備事業【再掲】	45,000	22	52
5	新規	経済局	中山間地振興課	ソフト	オクシズ在来作物活用事業【再掲】	4,700	26	52
6	新規	経済局	中山間地振興課	ソフト	地域おこし協力隊配置事業【再掲】	5,000	23	52
7	継続	経済局	中山間地振興課	ソフト	中山間地域移住促進事業【再掲】 (移住用住宅改修、移住奨励金、促進事業助成)	9,800	38	51
8	拡充	都市局	交通政策課	ソフト	井川地区自主運行バス運行事業	31,358	—	54
9	拡充	教育委員会事務局	教育総務課	ソフト	南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家活用事業	7,803	104	69
10	継続	教育委員会事務局	教育総務課	ハード	南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家整備事業	39,767	—	69
小計						323,109		
○その他								
11	継続	都市局	緑地政策課 公園整備課	ソフト ハード	麻機遊水地関連事業	126,596	105	57,58
12	継続	観光交流文化局(生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ソフト	地域文化の担い手の育成と伝承事業	925	—	—
13	拡充	環境局	環境創造課 (清流の都創造課)	ソフト	放任竹林対策推進事業	14,948	106	20
14	拡充	経済局	中山間地振興課	ソフト	野生鳥獣被害対策事業	121,860	107	51
小計						264,329		

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	322,567
ソフト	264,871
計	587,438

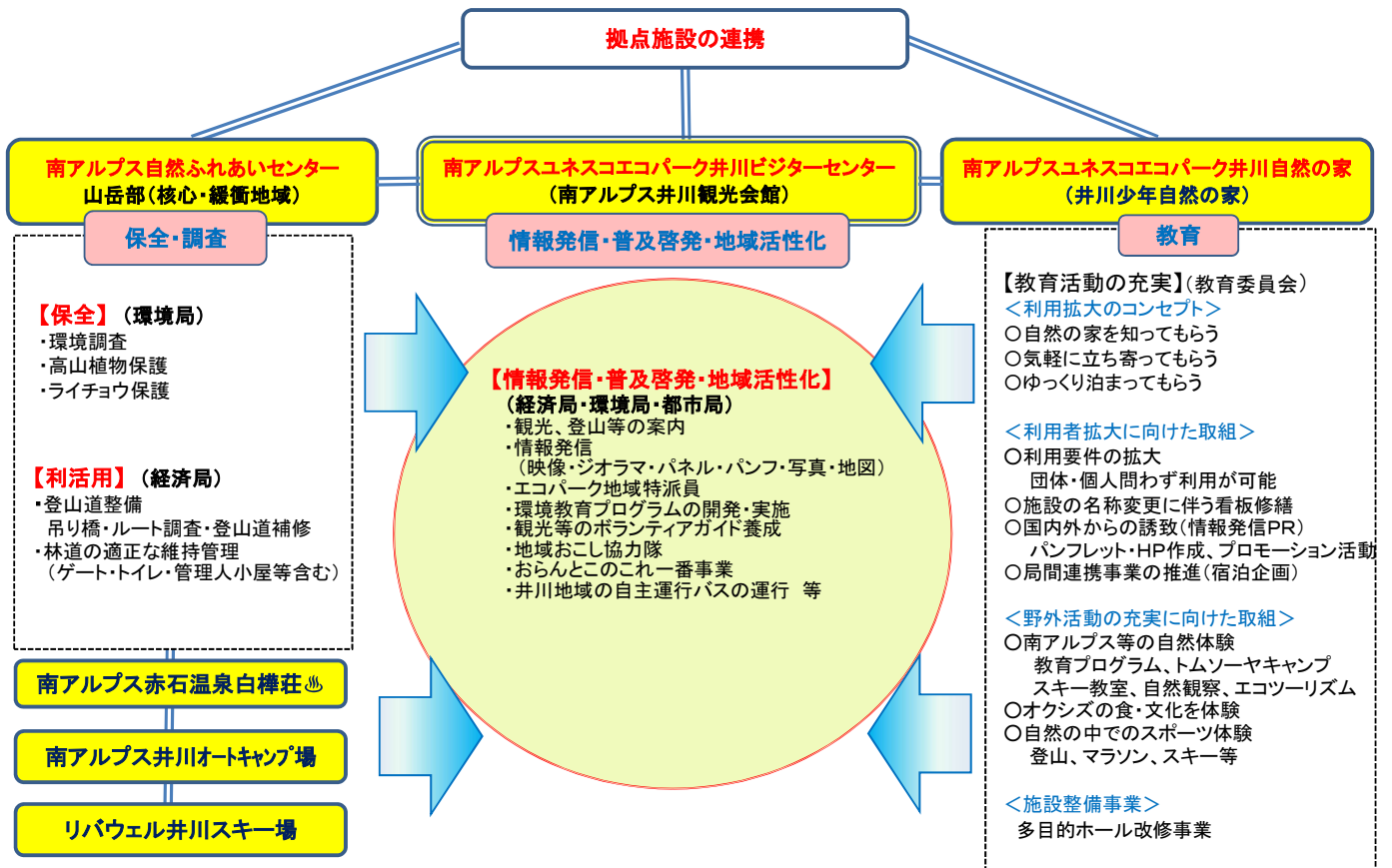
＜重点プロジェクト(6-②)のイメージ＞

主な関係局 (◎は代表局) ◎環境局、観光交流文化局(生活文化局)、経済局、都市局、教育委員会事務局

【主要事業(南アルプスユネスコエコパーク関連事業)の目的とねらい】
本市の貴重な自然環境を未来へ受け継いでいくため、ユネスコエコパークの理念に基づいた ①自然保全・調査 ②教育 ③地域経済の持続的な発展 を図る取組を推進する。

- 【課題】
- ① 世界に認められた南アルプスの貴重な自然環境を保全する取組が必要
・中央新幹線整備事業への対応 ・ニホンジカによる高山植物への食害対策 ・南アルプスを象徴するライチョウの生息環境の保全
 - ② 学術的知見の集積・活用に係る調査と保全対策など将来の担い手育成の取組が必要
・モニタリング調査 ・教育プログラムの実施 ・地域文化の担い手の育成と伝承支援
 - ③ 南アルプスなどの地域資源を活かした地域経済の持続的な発展に繋げる取組が必要
・交流人口増による雇用の場の創出 ・井川地区への若年層の定着

I 南アルプスユネスコエコパーク関連事業



II 都市の里地・里山機能の保全事業

【適正な人と自然の共生】 (環境局・経済局・都市局)

- 野生鳥獣被害対策の推進
・地域一体型・緩衝地帯整備による人と野生鳥獣との生活域の分離
- 放任竹林対策の推進
・里山保全団体の支援・育成
・竹の利用価値の創出(竹粉による生ごみ堆肥化)
・「しずおか型」放任竹林解消事業
- 自然再生を取り入れた公園の整備
・あさはた緑地の整備

平成27年度当初予算 重点プロジェクトの主な事業

<第3次総合計画>

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-③ 「まちづくりは人づくり」の観点から、市内それぞれの地域コミュニティが有する絆を強化するとともに、生涯学習などの推進により、行政と市民との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成を目指します。	

<主な事業>

No.	区分	局	課	区分	事業名	当初予算額 (千円)	資料② ページ	資料③ ページ
③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ						36,390		
1	新規	市民局 (生活文化局)	生涯学習推進課	ソフト	人材養成塾(地域リーダー養成コース)	8,453	108	8
2	継続	市民局 (生活文化局)	生涯学習推進課	ソフト	人材養成塾(社会事業家養成コース)	3,274	109	8
3	新規	駿河区役所	地域総務課	ソフト	地域の人材育成事業 (区魅力づくり事業の一部)	1,030	110	12
4	新規	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	地域支え合い人材養成講座 「生きがい やりがい 生涯現役」【再掲】	1,140	57	26
5	新規	保健福祉局	高齢者福祉課	ソフト	生活支援体制整備事業【再掲】	9,816	58	94
6	継続	市民局 (生活文化局)	男女参画・多文化共生課(男女参画・市民協働推進課)	ソフト	アイセル女性カレッジ	—	—	7
7	継続	教育委員会事務局	教職員課	ソフト	しずおか教師塾	2,701	—	70
8	継続	子ども未来局	子ども未来課	ソフト	子育て支援の担い手育成 (子育てサポーター養成講座)	820	—	—
9	継続	環境局	ごみ減量推進課	ソフト	環境大学	731	—	21
10	継続	観光交流文化局 (生活文化局)	歴史文化課 (文化財課)	ソフト	地域文化の担い手の育成と伝承事業・文化財サポーター入門講座	925	—	—
11	継続	経済局	農業政策課	ソフト	静岡市お茶の学校	380	111	46
12	継続	経済局	産業振興課	ソフト	地場産業後継者育成 (クラフトマンサポート事業)	4,200	—	—
13	新規	市民局 (生活文化局)	市民自治推進課 (男女参画・市民協働推進課)	ソフト	市民活動の促進 「(仮)市民活動プレビュー」	1,824	112	7
14	継続	市民局 (生活文化局)	市民自治推進課 (男女参画・市民協働推進課)	ソフト	市民活動の促進 「協働パイロット事業」	1,096	—	7

※()書きは平成26年度の事業所管局・課

ハード	0
ソフト	36,390
計	36,390

<重点プロジェクト(6-③)のイメージ>

主な関係局 (◎は代表局)	◎市民局(生活文化局)、企画局、駿河区役所、観光交流文化局(生活文化局)、環境局、保健福祉局、子ども未来局、経済局、教育委員会事務局
------------------	--

現状

【学びを実践に活かす人が低調】

生涯学習に取り組んだ人のうち、「この1年の間に、生涯学習を通じて身につけたことを活かしている人」の割合は、67.2%である。

しかし、「地域や社会での活動に活かしている」人は、そのうち11.9%と低調である。(平成25年度静岡市生涯学習・スポーツに関する市民意識調査より)

【人材養成事業における連携不足】

市の関係各課において、個別分野に対応し、様々な人材養成事業が実施されている。

ねらい

行政と市民との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成

市民活動の促進

- ◆知らせる (交流の場づくり)
- ◆やってみる (市民活動への参画の促進)
- ◆深める (市民活動の自立を支える環境づくり)
- ◆つながる (市民協働の推進)

市民自治を支えるリーダーの養成

